

**SONY®**

# ネットワーク サーベイランス サーバー

リリースノート

ソフトウェアバージョン 1.6.3

NSR-1000 Series

第1版（最終修正日 2013年10月30日）

© 2013 Sony Corporation

## 著作権について

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよび本書の内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねます。万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り換えいたします。それ以外の責はご容赦ください。このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 商標について

Microsoft、Windows および Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Pentium、Xeon および Intel Core は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。

また、その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

なお、本書中で®、™マークは明記しておりません。

## 目次

1 概要	1
1-1 V1.6.3 で追加された機能	1
1-1-1 サポートカメラの拡充	1
1-1-2 カメラの機能制限解除	2
1-1-3 検索画面の改善	2
1-1-4 データベースと構成情報定期バックアップ機能	2
1-1-5 RM-NS1000 のカメラID 4 桁対応	2
1-1-6 ONVIFカメラのパン・チルト速度設定機能	2
1-1-7 HWCSログレベルの細分化	3
1-2 リリースソフトウェアバージョン表	3
1-3 サポートカメラ情報	5
2 重要事項	11
3 注意事項	11
3-1 設置・システム設定	11
3-2 本体からのftpダウンロード	13
3-3 アナログカメラ登録	13
3-4 デバイス登録	14
3-5 メイン画面：モニタリング	15
3-6 メイン画面：再生コントロール	15
3-7 アラーム通知・履歴	16
3-8 検索画面	16
3-9 デバイス設定	16
3-10 スケジュール設定	21
3-11 ユーザー設定	22
3-12 レイアウト設定	23
3-13 エクスポート	23
3-14 他社カメラ	23
3-15 テストメール	25
3-16 その他	25
4 限定事項	27
4-1 V1.6.3 で修正された限定事項	27
4-2 既知の限定事項	27
4-2-1 設置・システム設定	27
4-2-2 デバイス登録	28

4-2-3	メイン画面：検索再生	29
4-2-4	メイン画面：モニタリング	29
4-2-5	アナログカメラ操作	31
4-2-6	アラーム通知・履歴	31
4-2-7	検索画面	32
4-2-8	デバイス設定	32
4-2-9	サーバー設定	35
4-2-10	アクション設定	36
4-2-11	スケジュール設定	36
4-2-12	その他	37
5	補足	39
5-1	主な機能追加履歴	39
5-1-1	V1.6.1 で追加された機能	39
5-1-2	V1.6.0 で追加された機能	41
5-1-3	V1.5.1 で追加された機能	42
5-1-4	V1.4.0 で追加された機能	44
5-1-5	V1.3.2 で追加された機能	46
5-1-6	V1.3.1 で追加された機能	46
5-1-7	V1.2.0 で追加された機能	47
5-1-8	V1.1.2 で追加された機能	48
5-1-9	V1.1.1 で追加された機能	49
5-1-10	V1.1.0 で追加された機能	50
5-2	主な修正履歴	53
5-2-1	V1.6.1 で解決された限定事項	53
5-2-2	V1.6.0 で解決された限定事項	53
5-2-3	V1.5.1 で解決された限定事項	55
5-2-4	V1.4.0.62 で解決された限定事項	59
5-2-5	V1.4.0 で解決された限定事項	60
5-2-6	V1.3.2 で解決された限定事項	61
5-2-7	V1.3.1 で解決された限定事項	62
5-2-8	V1.2.0 で解決された限定事項	64
5-2-9	V1.1.2 で解決された限定事項	64
5-2-10	V1.1.1 で解決された限定事項	65
5-2-11	V1.1.0 で解決された限定事項	67

## 1 概要

本リリースノートは、NSR-1200/NSR-1100/NSR-1050H(以下、NSR-1000 Series)に搭載されているソフトウェアに関する情報を提供します。なお、NSR-1000 Series 本体に内蔵されている NSR Client(IMZ-NS Series)の情報につきましては、Client に同梱されている RealShot Manager Advanced のリリースノートをご参照ください。

### ご注意

RealShot Manager Advanced Client とは、NSR-1000 Series をリモートで操作する為のクライアントアプリケーションソフトウェアです。

### 1-1 V1.6.3 で追加された機能

#### 1-1-1 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。(R295, R402,R407)

SNC-CX600W			
SNC-WR630	SNC-WR632		
SNC-VM602	SNC-VM632		
SNC-EB600	SNC-EB600B	SNC-EB630	SNC-EB630B
SNC-EM600	SNC-EM601	SNC-EM630	SNC-EM631
SNC-EM632R	SNC-EM602R		

### ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第 2 章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は、1-3 [サポートカメラ情報](#) を参照してください。

**1-1-2 カメラの機能制限解除**

下記のモデルについて、複数インスタンス設定時にも VMF（レコーダー）が使用できるようになりました。（R381）

SNC-CH120	SNC-CH160	SNC-DH120	SNC-DH120T	SNC-DH160
SNC-CH220	SNC-CH260	SNC-DH220	SNC-DH220T	SNC-DH260
SNC-ER580	SNC-EP580	SNC-ER550	SNC-EP550	SNC-ER520
SNC-ER521	SNC-EP520	SNC-EP521	SNC-CH110	SNC-DH110
SNC-DH110T	SNC-CH210	SNC-DH210	SNC-DH210T	SNC-EM520
SNC-EM521	SNC-EB520	SNC-ER585	SNC-ER585H	

**1-1-3 検索画面の改善**

予定されている記録期間中の正常記録と Video Loss 等による記録欠損を検索画面のタイムライン上で区別 (Video Loss はグレー表示) できるようになりました。（R404）

**1-1-4 データベースと構成情報定期バックアップ機能**

データベースと構成情報バックアップが設定可能になりました。データベースが壊れた時に、自動でバックアップされたデータベースと構成情報で、システムを復旧できるようになりました。（R403）

**1-1-5 RM-NS1000 のカメラ ID 4 桁対応**

RM-NS1000 との組み合わせで、4 桁のカメラ ID が扱えるようになりました。（R400）

**ご注意**

RM-NS1000 用ファームウェアは 1.10 以降のバージョンにする必要があります。

**1-1-6 ONVIF カメラのパン・チルト速度設定機能**

PTZ 機能をもつ ONVIF カメラに対して、パン・チルト速度を設定できるようになりました。

### 1-1-7 HWCS ログレベルの細分化

HWCS モジュールのログのレベルも高い順から EMERGENCY、ERROR、WARNING、NOTICE となっています。EMERGENCY レベルのログ出力を再定義し、EMERGENCY レベルのログ出力の際に、ERROR LED を点灯させ、より迅速な対応を行うための情報提供を強化しています。(R401)

### 1-2 リリースソフトウェアバージョン表

NSR-1000 Series Version	NSR Server Software Version	本体内蔵*NSR Client [RealShot Manager Advanced(Client)] Version	本体内蔵 Media File Player Version
V1.0.0	1.0.0.26	1.0.0.16	1.2.0.7
V1.0.1	1.0.1.4	1.0.1.4	1.2.0.11
V1.0.4	1.0.4.6	1.0.4.6	1.2.1.5
V1.1.0	1.1.0.20	1.1.0.19	1.2.2.4
V1.1.1	1.1.1.7	1.1.1.7	1.2.3.0
V1.1.2	1.1.2.7	1.1.2.7	1.3.0.4
V1.2.0	1.2.0.2	1.2.0.2	1.3.0.4
V1.3.1	1.3.1.2	1.3.1.2	1.3.0.4
V1.3.2	1.3.2.5	1.3.2.4	1.3.1.1
V1.4.0	1.4.0.9	1.4.0.8	1.4.0.2
V1.4.0	1.4.0.9(patch level 1.4.0.62)	1.4.0.8	1.4.0.2
V1.5.1	1.5.1.11	1.5.1.10	1.5.1.6
V1.6.0	1.6.0.814	1.6.0.792	1.6.0.19
V1.6.1	1.6.1.248	1.6.1.248	1.6.1.2
V1.6.3	1.6.3.286	1.6.3.268	1.6.3.3

\*V1.6.3 にバージョンアップした場合、Central Configuration Tool、Recording Server Monitoring Tool と Recording Server Maintenance Tool を必ず V1.1.1 以降にバージョンアップしてください。

\*本体から、ftp でソフトをダウンロードする方法に関しては、設置説明書を参照ください。

\*RealShot Manager Advanced および Media File Player の情報は、RealShot Manager Advanced に同梱されるリリースノートを参照してください。

**ご注意**

動作確認を行ったレコーダー（サーバー・クライアント）・ツールのバージョンの組み合わせは以下のリンクに資料があります。“NSR-1000Series”が“1.6.3”となっている行をご参照ください。

※[http://www.sony.net/Products/IPELA/NSR/NSR500/pdf/Verified\\_Version\\_Combinations.pdf](http://www.sony.net/Products/IPELA/NSR/NSR500/pdf/Verified_Version_Combinations.pdf)

なお、設定変更に関しては、不整合が生じる可能性があるため、直接 **Server** で行うか、上の表で同じ行に書かれているバージョンの **Client** から行うようにしてください。

## 1-3 サポートカメラ情報

**Sony**

Camera Model Name	Camera Firmware Version
SNC-CH110	v1.79 or higher
SNC-CH115	v1.79 or higher
SNC-CH120	v1.79 or higher
SNC-CH135	v1.79 or higher
SNC-CH140	v1.79 or higher
SNC-CH160	v1.79 or higher
SNC-CH180	v1.79 or higher
SNC-CH210	v1.79 or higher
SNC-CH220	v1.79 or higher
SNC-CH240	v1.79 or higher
SNC-CH260	v1.79 or higher
SNC-CH280	v1.79 or higher
SNC-CM120	v1.11 or higher
SNC-CS3	v1.08 or higher
SNC-CS10	v1.06 or higher
SNC-CS11	v1.06 or higher
SNC-CS20	v1.11 or higher
SNC-CS50	v2.33 or higher
SNC-CX600W	v1.7.0 or higher
SNC-DF40	v1.18 or higher
SNC-DF50	v1.23 or higher
SNC-DF70	v1.18 or higher
SNC-DF80	v1.23 or higher
SNC-DF85	v1.23 or higher
SNC-DH110	v1.79 or higher
SNC-DH110T	v1.79 or higher
SNC-DH120	v1.79 or higher

SNC-DH120T	v1.79 or higher
SNC-DH140	v1.79 or higher
SNC-DH140T	v1.79 or higher
SNC-DH160	v1.79 or higher
SNC-DH180	v1.79 or higher
SNC-DH210	v1.79 or higher
SNC-DH210T	v1.79 or higher
SNC-DH220	v1.79 or higher
SNC-DH220T	v1.79 or higher
SNC-DH240	v1.79 or higher
SNC-DH240T	v1.79 or higher
SNC-DH260	v1.79 or higher
SNC-DH280	v1.79 or higher
SNC-DM110	v1.11 or higher
SNC-DM160	v1.11 or higher
SNC-DS10	v1.11 or higher
SNC-DS60	v1.11 or higher
SNC-EB600	v1.6.0 or higher
SNC-EB600B	v1.9.0 or higher
SNC-EB630	v1.6.0 or higher
SNC-EB630B	v1.7.0 or higher
SNC-EP520	v1.78 or higher
SNC-EP521	v1.78 or higher
SNC-EP580	v1.78 or higher
SNC-EP550	v1.78 or higher
SNC-ER520	v1.78 or higher
SNC-ER521	v1.78 or higher
SNC-ER580	v1.78 or higher
SNC-ER585	v1.78 or higher
SNC-ER585H	v1.78 or higher
SNC-ER550	v1.78 or higher
SNC-EB520	v1.79 or higher

SNC-EM520	v1.79 or higher
SNC-EM521	v1.79 or higher
SNC-EM600	v1.6.0 or higher
SNC-EM601	v1.6.0 or higher
SNC-EM630	v1.6.0 or higher
SNC-EM631	v1.6.0 or higher
SNC-EM602R	v1.8.0 or higher
SNC-EM632R	v1.8.0 or higher
SNC-P1	v1.30 or higher
SNC-P5	v1.30 or higher
SNC-RH124	v1.79 or higher
SNC-RH164	v1.79 or higher
SNC-RS44	v1.79 or higher
SNC-RS46	v1.79 or higher
SNC-RS84	v1.79 or higher
SNC-RS86	v1.79 or higher
SNC-RX530	v3.13/2.43 or higher
SNC-RX550	v3.13/2.43 or higher
SNC-RX570	v3.13/2.43 or higher
SNC-RZ25	v1.40 or higher
SNC-RZ30	v3.14/2.24 or higher
SNC-RZ50	v2.43 or higher
SNC-VB600	v1.8.0 or higher
SNC-VB600B	v1.8.0 or higher
SNC-VB630	v1.8.0 or higher
SNC-VM600	v1.8.0 or higher
SNC-VM600B	v1.8.0 or higher
SNC-VM601	v1.8.0 or higher
SNC-VM601B	v1.8.0 or higher
SNC-VM602R	v1.8.0 or higher
SNC-VM630	v1.8.0 or higher
SNC-VM631	v1.8.0 or higher

SNC-VM632R	v1.8.0 or higher
SNC-WR630	NA (*1)
SNC-WR632	NA (*1)
SNC-Z20	v1.06 or higher
SNC-ZB550	v1.79 or higher
SNC-ZM550	v1.79 or higher
SNC-ZM551	v1.79 or higher
SNC-ZP550	v1.78 or higher
SNC-ZR550	v1.78 or higher
SNT-EP104	v1.79 or higher
SNT-EP154	v1.79 or higher
SNT-EX101	v1.79 or higher
SNT-EX101E	v1.79 or higher
SNT-EX104	v1.79 or higher
SNT-EX154	v1.77 or higher
SNT-V704	v2.16 or higher

\*1 本ソフトウェアリリース時点で初期 Firmware Version が確定していません。

### Axis

Camera Model Name	Camera Firmware Version
Axis 206	v4.40
Axis 207	v4.40
Axis 207W	v4.40.1
Axis 210	v4.40
Axis 210A	v4.40.1
Axis 211	v4.40
Axis 211A	v4.30
Axis 221	v4.45
Axis 209FD	v4.47
Axis 209FD-R	v4.47
Axis 209MFD	v4.47

Axis 209MFD-R	v4.47
Axis 216FD	v4.40.1
Axis 216FD-V	v4.40.1
Axis 216MFD	v4.47
Axis 216MFD-V	v4.47
Axis 225FD	v4.45
Axis P3301 (*1)	v5.01
Axis P3301-V (*1)	v5.01
Axis 212PTZ	v4.40
Axis 213PTZ with CM	v4.35
Axis 214PTZ	v4.40
Axis 215PTZ	v4.40
Axis 232D+	v4.41
Axis 233D	v4.48.1
Axis 241Q	v4.30
Axis 241QA	v4.30
Axis 241S	v4.40
Axis 243Q Blade	v4.45
Axis 243SA	v4.45
Axis 247S	v4.45
Axis Q7401 (*1)	v5.01
Axis Q7406 (*1)	v5.01

\*1 JPEG のみサポートしています。

### IQinVision

Camera Model Name	Camera Firmware Version
IQeye510	v2.8/6(080313)
IQeye511	v2.8/6(080313)
IQeye702	v2.8/6(080313)
IQeye703	v3.0/2(090521)
IQeye705	v3.0/2(090521)
IQeye711	v3.0/2(090521)

IQeye752	v3.0/2(090521)
IQeye753	v3.0/2(090521)
IQeye755	v3.0/2(090521)

## 2 重要事項

- NSR-1000 シリーズ v1.6.0 へ Patch アップデートをする場合は、v1.6.0 のカーネルアップデートを行う必要があります。適用するには、本体ソフトウェア用のパッチを適用後、カーネルアップデート用のパッチを適用してください。
- 以下のネットワークカメラおよびカメラサーバーのファームウェアバージョン 1.20 以上をお使いになる場合、必ず NSR-1000 Series V1.3.2 以上をお使いください。V1.3.2 以上をお使いでないと、モニタリングや記録が停止してしまう恐れがあります。(V13R:639)
  - SNC-RH シリーズ
  - SNC-RS シリーズ
- 以前のバージョンの NSR-1000 に収録されている RealShot Manager Advanced Client (および Media File Player) の不具合が、本バージョンに収録されている RealShot Manager Advanced Client (および Media File Player) にて修正されています。必要に応じて本体よりダウンロードし、アップデートを実施してご使用ください。

## 3 注意事項

### 3-1 設置・システム設定

- Edge Storage 機能を使用する場合、カメラの時刻と NSR の時刻は、NTP サーバーに同期させてください。
- Edge Storage 機能が使用するプロトコルは RTP/UDP である為、ネットワーク負荷が高い状態では、映像パケットが失われる可能性があります。
- 弊社 RealShot Manager Advanced サポート用ウェブサイトからダウンロードできるインストーラーは RealShot Manager Advanced (Server)、RealShot Manager Lite もしくは RealShot Manager Advanced (Client)のいずれかをインストールすることができます。  
一方、NSR 本体で提示されるリンク先 (NSR サポート用ウェブサイト)からダウンロードできるインストーラーは Client 専用インストーラーです。

これらのインストーラーを混用すると予期せぬ不具合が発生する恐れがあります。**Client** のアップグレードの際、インストールした時と同じウェブサイトからダウンロードしたインストーラーでアップグレードしてください。

- サーバー設定において、「リモートクライアントからの接続」設定を”Network3”にしても、クライアントからの接続ができません。”Network1” または”Network2”を設定してください。(VT1:2036)
- 運用中に「セットアップメニュー」においてタイムゾーンを変更した場合、既存の記録スケジュールやアクション設定の時刻にずれが発生します。スケジュール設定した後に、タイムゾーンを変更した場合は、全てのスケジュールを確認し、必要であれば正しい時刻に修正してください。(VT1:2026)
- **USB** マウスと **USB** キーボードはそれぞれ 1 つだけ接続してご使用ください。複数のキーボード接続や、**KVM** の使用は推奨いたしません。(VT1:1868)
- **V1.1.0** 以降のバージョンアップ用 **Patch** ファイルは本体ソフトウェア用とユーザーガイド用の 2 つに分けて提供されますので、忘れずに 2 つのパッチを適用してください。適用する際には、本体ソフトウェア用のパッチを適用後、ユーザーガイド用のパッチを適用してください。(V11N:314)

**ご注意**

**V1.1.0** リリース時のユーザーガイド用 **Patch** ファイル

`nsrpatch_v1.1.0.manual.tar.bz2`

は **V1.1.0** にのみ適用可能です。

**V1.1.1** および **V1.1.2** に適用する場合、**V1.1.2** リリース時の

`nsrpatch_v1.1.x.manual.tar.bz2`

をお使いください。

- **HDMI** オーディオ使用時は、ご使用の **HDMI** モニターによってはマニュアルアクションやスケジュールアクションで設定したビープ音が全く鳴らなかつたり、短い時間しか鳴らなかつたりすることがあります。この現象の発生頻度はモニターの **HDMI** オーディオの処理に依存します。この現象を回避するためには、アクションでビープ音を使用する場合は **AUDIO OUT** (ライン出力) をご使用ください。

(M15:319)

- ・ [管理メニュー]-[セットアップメニュー]-[Disk]で iSCSI ストレージを削除できない場合、システムを再起動してからもう一度削除をしてください。(V16N:77)

### 3-2 本体からの ftp ダウンロード

- ・ NSR-1000series 本体から、Realshot Manager Advanced や Media File Player、User's Guide 等、ftp を使ってダウンロードする場合、Internet Explorer7 を ftp クライアントとして使用する場合は、正しくダウンロードできない場合があります。その場合は、Internet Explorer を使わずに、Explorer や他の ftp クライアントプログラムをご使用ください。(VT1:2012)

### 3-3 アナログカメラ登録

- ・ NSBK-A16 と NSBK-A16H において、全てのチャンネルで、同時にモニタリング/記録できる最大フレームレートは以下のようになっています。この制限を越える設定はできませんのでご注意ください。(VT1:1800)

NTSC	
解像度	登録されているカメラの合計最大フレームレート
CIF(352x240)	480
2CIF(704x240)	240
4CIF(704x480)	120
PAL	
解像度	登録されているカメラの合計最大フレームレート
CIF(352x288)	400
2CIF(704x288)	200
4CIF(704x576)	100

- ・ スケジュール設定において、アナログカメラの記録パラメーター設定を変更することができません。デバイス設定の[映像]タブ内、または簡単設定の[記録設定]でスケジュールの設定値を変更してください。その値が常に記録設定パラ

メーターとして使用されます。

### 3-4 デバイス登録

- ・ メディカルレコーダーHVO-1000MD を登録し、使用する際には以下の点にご注意ください。その他、詳細についてはメディカルレコーダーのマニュアル等もご参照ください。
  - カメラ自動登録やカメラ一括登録で、自動検出することはできません。そのため、IPアドレスはDHCPではなく、固定のアドレスを設定してください。
  - デバイス追加のダイアログの[デバイス種別]では、必ず[MedicalRecorder]を選択してください(リストの下方にあります)。**[Auto Connect]**での登録はサポートしていません。
  - 初期ポート番号は8000です(80ではありません)。
  - 設定画面からは、メディカルレコーダー本体の設定や性能的に制限されている映像設定の組み合わせも、指定できてしまいます。制限の詳細については、メディカルレコーダーのマニュアル等をご参照ください。
  - 30fpsでモニタリングする場合は、画像サイズ1280x720以下の使用をおすすめします。
  - モニタリング映像はリアルタイムから2秒程度の遅延で表示されます。
  - 音声のコーデックはG.711 64kbpsのみサポートしています。
- ・ 以下の文字はカメラ名に使用することができません。入力は禁止されます。

(V11N:556)

¥ / : , ; \* ? " < > | [ ]

#### メモ

V1.1.2で新たに【および】が禁止文字に追加されました。これらの文字をカメラ名に使用したとき、NSR-1000シリーズでの記録済みファイルの削除処理に支障があったためです。

- ・ カメラサーバーSNT-EX104/EX154/EP104/EP154は同じ筐体でもビデオのチャンネル毎に別のIPアドレスを持っています。そのため、複数のカメラサーバーを登録する際に、デバイスの自動登録や一括登録画面でIPアドレスを割り振ると、個別のチャンネルごとにIPアドレスが割り振られるため、筐体の順番にまとまったアサ

インになりません。

IPアドレスを筐体毎にまとめてアサインするには、カメラサーバーを1台ずつ登録するか、事前にカメラサーバーのIPアドレスを設定してから一括登録画面でIPアドレスを変更せずに登録してください。(V11R:435)

- ・ デバイス一括登録でカメラを一度に登録した場合、登録中はNSRの負荷が重くなる場合があります。登録処理中にログオフすると、次のログオンでタイムアウトする場合がありますので、登録処理後は数分間待ってから再ログオンしてください。(V11N:461)

### 3-5 メイン画面：モニタリング

- ・ 設定画面や検索画面を開いた場合、セカンドディスプレイの描画は止まります。(VT1:1843)
- ・ 「滑らか表示」機能は、現在選択しているモニターウィンドウ1つに対してのみ有効となります。セカンドモニターに対しては有効になりません。(VT1:2069)
- ・ Edge Storage 機能をご使用中にブラウザからカメラの映像をモニタリングした場合、カメラ側に記録された映像の取得を正しく行うことができません。ブラウザによるモニタリングは行わないでください。
- ・ カメラサーバーSNT-EX/EP シリーズに接続されているアナログカメラでは、DIRECT PTZ はご使用になれません。カメラコントロールペイン内のボタンかリモコンをお使いください。(V11N:401)

### 3-6 メイン画面：再生コントロール

- ・ 記録時に使用したVMFパッケージが再生時に存在しない場合、VMFの枠がずれて表示されます。(V11R:712)
- ・ 多数のアラームが連続して発生した場合、タイムライン表示上、複数のアラームポイントがつながって表示されます。次の[前の]アラームボタンを押しても移動していないように見えますが、モニターフレーム内に表示される時刻で移動を確認してください。(VT1:1865)

### 3-7 アラーム通知・履歴

- ・ ログオフ中に発生したアラームに関しては、メイン画面下のアラームヒストリーでは保存および表示は行えません。ログオフ中のアラームを確認する場合にはログ表示ボタンからログ表示を行い、ログの種類で **EventAlarm** を選択してご確認ください。(VT1:1897)
- ・ SNT-V704 でセンサーアラームを検知すると、メイン画面下のアラームヒストリーには、登録されたチャンネル分(最大4つ)のアラームが上がります。(VT1:1707)

### 3-8 検索画面

- ・ スケジュール記録時間外およびマニュアル記録時に **Edge Storage** 機能により記録された映像は、サーバーには記録せずに削除されます。また、カメラからダウンロード中の映像は、再生することができません。
- ・ 検索したレコードを複数選択して削除する場合の上限は 100 件です。1000 件まで選択が可能です。安定動作のため、選択数は 100 件以内にすることを推奨します。(VT1:1844)
- ・ オブジェクト検索結果において、チェックマークは 1 つの結果に対して設定できません。記録画像の再生は、チェックマークが付いた結果に対しておこなわれます。また、チェックマークが付いた記録がエクスポート対象となります。記録の保護/保護解除の対象は、リストを選択し、背景を青色にしたものです。(VT1:2163)

### 3-9 デバイス設定

カメラの設定やご使用に関する注意事項を以下に記載します。他の制限や注意事項に関しては、カメラの取扱説明書やリリースノートをご参照ください。

- ・ 「スケジュール記録」、「イベント／アラーム記録」、「モニタリング」のコーデックをすべて **JPEG** とし、フレームレートだけを異なる値に設定できます。その時、「スケジュール記録」、もしくは「イベント／アラーム記録」を受信フレームレート(\*1)より低い値に設定した場合、該当記録は指定したフレームレートに至らないことがあります。これを避けるには、フレームレートをすべて同じ値に設定するか、記録

したいフレームレートより高めのフレームレートに設定してください。また、記録後に必要なフレームレートで記録されているか確認を行ってください。(V16R:296)

- (\*1)最も大きい fps 値が受信フレームレートとなります(\*2)。
- (\*2)カメラがその fps を送信できることを前提としており、カメラの仕様と本件は相関ありません。

- Edge Storage 機能を使用する場合、以下の注意事項をご確認ください。
  - Edge Storage への映像の記録はカメラ固有の機能であり、記録可能な時間や記録条件等についてはカメラの性能に依存します。詳細はカメラの関連資料を参照してください。
  - デバイス設定の[一般]タブでプロキシサーバーを設定している場合は機能しません。
  - カメラの Edge Storage に記録された映像をダウンロードするときのポート番号は、554 固定です。映像データは、ダウンロード完了後に削除されます。
  - 映像設定のスケジュール記録とアラーム/イベント記録設定が異なる場合、アラーム/イベント記録にカメラの映像 1、スケジュール記録にカメラの映像 2 を使用します。カメラの Edge Storage 機能の映像記録は、スケジュール記録の設定を優先し、映像 2 に設定されます。
  - 本機能を無効にした場合、カメラ側の Edge Storage 設定をオフにし、カメラの Edge Storage 機能により記録された映像データをすべて削除します。
  - 簡単設定の自動記録設定を行った場合、本機能は無効となり、カメラ側の Edge Storage 設定もオフとなります。
  - ネットワークインターフェイスは LAN1 をお使いください。LAN2 に接続されたカメラの Edge Storage 機能はサポートしません。
- JPEG で、1280x720 を超えるような大きな画像サイズをお使いになる際、設定画面からは、カメラの限界性能を超えるフレームレートを設定できてしまう場合があります。カメラの制約事項をご確認のうえ、それに従って設定してください。(V13R:384)
- カメラのアラーム出力を利用する場合は、あらかじめ Web ブラウザーからカメラに接続し、カメラのアラーム出力設定を有効にして、必ず「トグルモード」でお使いください。(VT1:2037)

- 以下のカメラにおいてVMD(カメラ)機能をご使用になる場合は、コーデックの設定をMPEG4に設定してください。(VT1:1866)  
SNC-RZ25, SNC-P5, SNC-CS10, SNC-CS11, SNC-P1, SNC-DF70, SNC-DF40
- NSBK-A16 や NSBK-A16H(アナログカメラ)のビデオフォーマットをPALに設定した場合、カメラのフレームレート設定は、実際には以下のように内部で変換されて動作します。ご注意ください。(VT1:1804, V14N:134)

設定値	内部動作値	
	NTSC	PAL
1	1	1
3	3	3.12
5	5	5
10	10	8.33
15	15	16.66
20	20	20
25	25	25
30	30	N/A

注)3-3に記載していますように、登録されているカメラの合計最大フレームレートは制限されています。PALのカメラをお使いの際、フレームレートの設定が3、10、および15の場合は、内部動作値がそれぞれ3.12、8.33、および16.66となっています。

合計最大フレームレートは表示上の値ではなく内部動作値で計算されますので、内部動作値に換算の上、合計が3-3の制限を超えない様に設定をおこなってください。(V11N:335)

- 以下のカメラにおいてコーデックをMPEG4に設定し、VMD(カメラ)機能をご使用になる場合は、最大のフレームレートはNTSCの場合は20FPS、PALの場合は16FPSに制限されます。VMD(カメラ)を有効にした後に、再度、無効にした場合には、手動で、解像度を一旦変更して元に戻すことで、最大フレームレートの取得が可能となります。(VT1:2016)  
SNC-RZ50, SNC-CM120, SNC-CS50, SNC-CS20, SNC-DM160, SNC-DM110,

SNC-DS60, SNC-DS10, SNC-DF85, SNC-DF80, SNC-DF50, SNC-RX570,  
SNC-RX550, SNC-RX530

- 映像を記録中のカメラでマスクの設定を変更すると、ライブ映像のマスクは変更されますが、記録映像に対してはマスクの変更は反映されず記録開始時のマスクのまま記録されます。マスクの変更を行なう際には、記録スケジュール設定を一旦無効に設定してマスクを設定した後、再び記録スケジュールを有効に設定して適用してください。(VT3:830)
  
- エンコーダーをお使いいただく際は、接続するカメラによって、カメラのダイレクトパンチルトおよびエリアズーム機能はお使いいただけないことがあります。カメラのマニュアルをご確認ください。(VT2:776)
  
- 以下のカメラで H.264 コーデックを使用する際、いくつかの制限事項があります。  
SNC-CS50, SNC-DF50, SNC-DF80, SNC-DF85, SNC-RX530, SNC-RX550,  
SNC-RX570, SNC-RZ50
  - コーデックとしてひとつでも H.264 を選ぶと、ほかのコーデックは選択できません。
  - 設定画面上は VMD(Camera)や VMF を設定できてしまいますが、カメラの仕様により、カメラからのアラームは発生しません。H.264 コーデックと動体検知を併用する場合は VMD(Recorder)をお使いください。
  - QVGA より大きな解像度を指定した場合、カメラの性能により設定画面で指定したフレームレートは出ません。  
NTSC: 10fps 以下  
PAL: 8fps 以下
  
- 以下のカメラを 384x288 以上の解像度、MPEG4 で使用すると、フレームレートの出力の最大値が制限されます。(V11N:59)  
SNC-CS50, SNC-DF50/DF80/DF85, SNC-RX530/RX550/RX570, SNC-RZ50
  - 手振れ補正がオンのときには 15(NTSC)/20(PAL) fps 以下
  - JPEG との Dual Codec または動体検知動作中は 20(NTSC)/16(PAL) fps 以下

- SNC-DF85 を接続して 4CIF の解像度をお使いになる場合にはファームウェア V1.20 以上をお使いください。それより前のファームウェアをお使いの場合、解像度設定で 4CIF を選択しないでください。(V11N:226)
- カメラサーバーSNT-EX シリーズに接続されているアナログカメラの制御プロトコル設定は SNT-EX シリーズの Web browser の設定画面にて行なってください。(V11N:169)
- SNT-EX154 の Audio は映像の Channel 1 でのみご使用になれます。(V11N:283)
- SNT-EX シリーズの I/O ピンは全ての映像チャネルにおいて共有で使します。全てのピンを Channel 1 だけで使用する、あるいは各 Channel で 1 つずつピンを使用することも可能です。ただし Output ピンを複数の Channel で共有すると、出力の状態に矛盾が生じる可能性がありますので、Output ピンはいずれか 1 つの Channel でのみ使用してください。(V11N:284)
- VMD(Camera)設定画面の検知サイズ設定は、VGA(640x480)座標系にて表現されており、以下のカメラおよびカメラサーバーについては実際に設定される値と異なります。(V11R:483)

SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ

SNT-EP シリーズ

SNT-EX シリーズ

SNC-CH シリーズ

SNC-DH シリーズ

検知サイズを調整する場合は画面上の枠表示を参考に行ってください。

- 記録中に映像タブの設定を変更した場合、その記録に対して以下のような影響があります。(V11N:155)
  - マニュアル記録  
映像タブのモニタリング設定の変更が全て、その記録に反映されます。
  - スケジュール記録、イベント/アラーム記録
    - 映像タブのコーデックを変更した場合

その記録に反映されます。

コーデックの変更によって、既にスケジュールに設定されている画像サイズ/ビットレート/フレームレートの値が、そのコーデックでは設定できない値となった場合、その記録には映像タブの設定値が内部的に反映されます。スケジュール設定の表示は変更されません。

- 映像タブの画像サイズ/ビットレート/フレームレートを変更した場合
  - スケジュール設定の値が"**Device Setting**"の場合  
映像タブの変更がその記録に対して反映されます。
  - スケジュール設定を手動で変更できる場合  
スケジュールに設定されている値が優先されます。スケジュール設定を手動で変更した場合、記録の状態が変更されるのは、次の記録の開始タイミングです。
- デバイスのグループ設定にて、クライアントにて設定(追加、削除)後、サーバー側のグループ設定の表示が更新されません。設定どおりの動作は行われます。サーバー側でログオンし直すことで表示が更新されます。また、サーバー側にて設定した場合も同様です。クライアントをログオンし直すことで表示が更新されます。

(M12:57)

メモ

サーバー:NSR-1000 Series, クライアント:RealShot Manager Advanced Client

### 3-10 スケジュール設定

- 必ず事前に記録テストを行い、正常にカメラ画像が記録されることを確認してください。

記録が開始されない場合、記録に関連する設定に誤りのある可能性があります。

スケジュール記録設定、サーバー設定画面の [ストレージ] タブ、[ストレージ割り当て] タブなどを確認し、正しく設定が行われているか、ご確認ください。

(V16N:94)

- 「自動記録設定」で以下のカメラのスケジュール登録をした場合には、コーデックが MPEG4 ではなく、JPEG となります。設定変更が必要な場合には、デバイス設定の[映像]タブでコーデックの変更を行ってください。(VT1:1690)

SNC-CM120, SNC-CS20, SNC-DF85, SNC-DM110, SNC-DM160, SNC-DS10,

## SNC-DS60

- 記録中に[ストレージ割り当て]の設定を変更しても、該当カメラの記録が一度停止し、再開されるまで新しい設定が有効になりません。以下の手順で[ストレージの割り当て]設定を変更されることをお勧めします。(VT1:1646)
  1. 該当カメラのスケジュールを無効にする([有効]のチェックを外す)
  2. [ストレージ割り当て]の設定を変更する
  3. 該当カメラのスケジュールを有効にする
- 記録中にオーディオの設定を有効にしても、音声の記録は開始されません。音声を記録するためには、記録開始時にオーディオの設定が有効になっている必要があります。(VT1:1643)
- 既存スケジュールに記録対象カメラを追加するとき、カメラ記録設定が空欄になる場合があります。そのままでは記録がおこなわれません。その際は、カメラ設定に合わせるボタンを押して、設定の再取得をおこなってください。(VT1:1441)
- 記録中にシステムの時刻を変更すると、記録されている時刻データもそれに伴い変更されます。そのため、記録の開始時刻と終了時刻の間隔が非常に長くなったり、再生時にモニターフレームに表示されている時刻表示が突然ジャンプしたりします。システムの時刻を変更する場合は、記録を一度停止した後に時刻変更してください。(VT1:1659)
- スケジュールの設定において、クライアント側にて設定(新規登録、編集、削除、更新)後、サーバー側のスケジュール表示が更新されません。設定どおりの動作は行われます。サーバー側でログオンし直すことで表示が更新されます。(M12:58)

## メモ

サーバー: NSR-1000 Series, クライアント: RealShot Manager Advanced Client

## 3-11 ユーザー設定

- 半角英数字および「-」「\_」以外の文字でユーザー名またはパスワードを設定するとそのユーザーでログオンできなくなります。ユーザー管理者権限を持ったユーザーでログオンし、該当ユーザーのユーザーID およびパスワードを変更してください

い。(VT1:1693)

- ・ ユーザーは自分自身のパスワード、権限、デバイスへのアクセス権の設定は変更できません。設定変更の権限を持ったユーザーにより変更をしてください。(M16:47)

### 3-12 レイアウト設定

- ・ レイアウト設定の項目の **De-interlace** が初期設定で **ON** になります。バージョンアップにより自動的に **ON** にはならないので、すでに作成済みのレイアウトについて **De-interlace** を確認のうえ、手動で **ON** にしてください。(VT1:2096)

### 3-13 エクスポート

- ・ 記録データのエクスポートは、同時に **200GB** 以下、もしくは、**1000** レコードまで可能です。(M16:54)

### 3-14 他社カメラ

- ・ **AXIS** 社のカメラ/ビデオサーバーには、レコーダーのマスクではなくカメラ/ビデオサーバーのマスク機能をお使いください。(VT3:1093,950,926)
- ・ **VMD**(レコーダー)を設定した **AXIS** 社製の **PTZ** 対応カメラで **PTZ** 操作を行なうと、カメラの **PTZ** 動作中にも動体が検知されます。(VT3:940)
- ・ **AXIS** 社製カメラの **JPEG** 映像をモニタリングまたは記録している場合、設定画面の[映像]タブで画像サイズ、画質、フレームレートを変更しても、変更前の設定でモニタリングや記録が継続されます。モニタリングへ変更を反映するには、一旦ログオフし、再度ログオンしてください。記録へ変更を反映するには、記録スケジュール設定を一旦無効に設定して適用後、再び有効に設定して適用してください。(VT3:914)
- ・ コーデックを **JPEG** に設定した **AXIS** 社製カメラへの **E-Flip** を **Camera** に設定しても、映像が反転しないままモニタリングや記録が継続されることがあります。モニタリングへ変更を反映するには、一旦ログオフし、再度ログオンしてください。記録へ変更を反映するには、記録スケジュール設定を一旦無効に設定して適用後、再び有効に設定して適用してください。(VT3:912)

- **AXIS** 社製カメラのプリセット名は、一度作成した後は変更できません。削除した後に、再度設定をおこなってください。(VT1:2159)
- **AXIS** 社の PTZ 機能に対応したカメラ/ビデオサーバーでは、DIRECT PTZ はご使用になれません。カメラコントロールペイン内のボタンリモコンをお使いください。(V11N:400)
- **AXIS** 社製のカメラでコーデックを MPEG4 に設定した場合には、ポート番号 554 を使って RTSP で映像を取得します。**AXIS** 社製カメラを MPEG4 でお使いの際には、カメラ側の設定で RTSP を無効にしないでください。ポート番号は初期設定の automatically のままお使いください。(V11N:409)

NSR のカメラとの接続で設定できる Proxy サーバーは HTTP Proxy です。AXIS 社製のカメラでコーデックを MPEG4 に設定した場合には Proxy 経由での接続は出来ません。Proxy 経由で接続する場合にはコーデックを JPEG でお使い下さい。(V11N:411)

- **IQinVision** 社製の 2M pixel 以上のカメラで、解像度とフレームレートの組合せによっては、フレームレートで設定した値の半分でしか映像が出力されません。(V11N:40,V11N:153)

実際にカメラから設定値通りのフレームレートで映像が出力されるかご確認の上、設定値の半分しかフレームレートが出ない場合には解像度あるいはフレームレートを別の設定に変更してください。

一例として以下の機種と設定値の組合せで発生することを確認しています。

全てバージョンは v3.0/2 で確認しています。

**IQeye752** (最大解像度 1600x1200):

解像度 800x600 とフレームレート 20fps で、出力 10fps

**IQeye753** (最大解像度 2048x1536):

解像度 1024x768 とフレームレート 12fps で、出力 6fps

**IQeye755**(最大解像度 2560x1920):

解像度 1280x960 とフレームレート 10fps で、出力 5fps

**3-15 テストメール**

- ・ テストメールの確認をする際は、RealShot Manager Advanced (Client)からではなく、NSR 本体の GUI で行ってください。

**3-16 その他**

- ・ Edge Storage 機能によるカメラの記録から復帰するとき、通信状況によってはレコーダーでの記録の再開が遅れる場合があります。(M16:81)
- ・ Edge Storage 機能による記録の VMD(レコーダー)機能は動作しません。
- ・ Edge Storage 機能では、音声および動体や不動体の情報は記録されません。そのため、VMF をトリガーとしたオブジェクト検索の対象になりません。(V16R:81)
- ・ サーバーが正常にシャットダウンまたは再起動した場合、以下のカメラの Edge Storage への記録は行われません。(M16:72)

SNC-CH240	SNC-CH280	SNC-CH140	SNC-CH180	SNC-ER580
SNC-ER585	SNC-ER585H	SNC-EP580	SNC-ER550	SNC-EP550
SNC-ER520	SNC-ER521	SNC-EP520	SNC-EP521	SNC-RH124
SNC-RH164	SNC-RS44N/P	SNC-RS46N/P	SNC-RS84N/P	SNC-RS86N/P
SNC-EX101	SNC-EX101E	SNC-EX104	SNC-ZR550	SNC-ZP550

- ・ 以下のカメラのファームウェア V1.10 以降では、映像ストリームのビットレートの合計が 16Mbps を超える場合、カメラへの接続が拒否されます。記録やモニタリングに支障をきたさないために、システム稼働中には、ActiveX viewer など、他のアプリケーションから接続しないようにしてください。

SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ

SNT-EP シリーズ

SNT-EX シリーズ

SNC-CH シリーズ

SNC-DH シリーズ

SNC-EP series

SNC-ER series

SNC-EB520, SNC-EM520, SNC-EM521

SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

- 弊社製ネットワークカメラ SNC-CH140 および SNC-DH140 を、ファームウェア Ver. 1.05 からバージョンアップする際、RealShot Manager Advanced もしくは NSR-1000 シリーズと接続しているとファームウェアのバージョンアップが完了しないカメラ側の不具合があります。必ず接続を事前に解除して(モニタリングをやめ、記録スケジュールを無効にして)から行ってください。(V11N:609)
- システムが正常に終了しなかった場合、次回起動時にファイルシステムの修復をするために、起動に時間がかかる場合があります。修復にかかる時間は記録されているファイル数などによって変わります。ファイル数が非常に多い場合などはコンソール画面に切り替わり、完了までに8時間以上かかるケースがあります。修復作業中およびディスクのアクセスランプ点灯中は電源を切らないでください。(V14N:230)
- VMD(レコーダー)の使用時に、ビデオのストリーミングのパフォーマンスが実際の設定を下回ってしまう場合があります。特に、VMD(レコーダー)の設定が高解像度(例えば、1280x720以上)の場合に顕著に起きます。これにより、フレーム落ちやチョッピー現象が起こることがあります。これを避けるためには、適正な解像度でVMD(レコーダー)をお使いください。(V15N:189)

## 4 限定事項

### 4-1 V1.6.3 で修正された限定事項

- ・ SNC-xx600 シリーズ (xx : アルファベット 2 文字) で Edge Storage 機能を使用する際、まれに、ダウンロードされた Edge Storage 記録の検索や再生ができないことがある問題を修正しました。(V16R:363)
- ・ SNC-xx600 シリーズ (xx : アルファベット 2 文字) のカメラを、長時間モニタリングも記録もしていない状態からモニターフレームに割り当てたとき、映像が出るまでに数分間かかってしまう、もしくは VIDEO LOSS になってしまう不具合を修正しました。(M16:336, QMP:1073)
- ・ カメラツアーを実行しているカメラを選択し、レイアウト変更やレイアウトツアーを行ったとき、カメラツアーを停止させてしまう不具合を修正しました。(M16:293, QMP:1036)

### 4-2 既知の限定事項

#### 4-2-1 設置・システム設定

- ・ パッチファイルをインストールしたときなど、本体を再起動させたとき、正常起動できずに再起動を繰り返してしまうことがあります。そのような場合、本体背面の電源スイッチを電源マークの方向に長押しして、強制的に電源を切ったあと、再度電源を入れてください。(V14N:122)
- ・ セットアップメニューの[Audio]画面で、[HDMI]を選択してモニタリングしていると、時間の経過とともに音声映像に対して遅れていってしまいます。映像と音声の同期が特に重要な環境では、アナログの[AUDIO OUT]を使用してください。(V14N:143)
- ・ 「管理メニュー」の「セットアップメニュー」から「SNMP Menu」、「Traps」を選択して、「SNMP Agent」を有効にすると、以下のエラーが発生して ERROR ランプが点灯しますが、サービスが自動で再起動された際のメッセージですので、動作に問題はありません。(V11N:165)

wixalarm[1234] is dead or killed

- メディカルレコーダーHVO-1000MDは、最大1台接続でき、クライアントの最大数は2台までとなっております。(V14N:221)
- 記録画像のエキスポート、静止画ファイルのエキスポート、ログのエキスポート、構成情報の保存・復元、システム情報のエキスポート等データを出力する為に使用する USB フラッシュメモリーは、FAT32 フォーマットのみ対応しています。(M15:95)
- サーバー設定を変更する際に、[Network interface for Remote Client]設定は、その他の項目と同時に変更することができません。まず[Network interface for Remote Client]設定を行い、再起動後に他の設定を行ってください。(Q:766)
- [管理メニュー]-[セットアップメニュー]-[Date and Time]で、タイムゾーンを(GMT:-12:00)にして "Synchronize with NTP Server"を有効にすると、間違った日付が設定されることがあります。このような問題が起こった場合は、システムの再起動後に手動で日付を変更してください。(V15N:181)

#### 4-2-2 デバイス登録

- カメラ一括登録画面において、設定済みのデバイスが、未設定カメラ一覧に表示される場合があります。その場合は、再読み込みボタンを押して情報の更新をおこなってください。(VT1:764)
- クライアント側でカメラを削除した後、同じカメラ名のデバイスをサーバー側で登録することはできません。登録する場合にはサーバーにてログオンし直してください。また、サーバー側でデバイスを削除した場合も同様です。クライアントにてログオンし直すことで、クライアント側から同じ名前で登録できます(M12:107)。

#### メモ

サーバー: NSR-1000 Series, クライアント:RealShot Manager Advanced Client

- SNC-xx600 シリーズの機種は、サーバーに登録されないと「デバイスの追加」ダイアログの機種リストに表示されません。一括登録または Auto Connect を利用してカメラを登録したあと、NSR を再起動すると表示されるようになります。(M16:168)

#### 4-2-3 メイン画面：検索再生

- ・ メイン画面の検索機能において、Edge Storage 記録した映像は検索と再生の対象に含まれていません。検索画面を使用してください。(M16:41)
- ・ メイン画面からのクイック再生におきまして、記録が存在しない日時を指定して [Go] ボタンを押すと「記録なし(No Record)」の表示になりますが、その際、PLAYBACK モードから LIVE モードに表示が戻ります。(V11N:20)
- ・ 追いかけて再生（記録しながらの再生）で直近の映像を再生すると数分で一時停止になる場合があります。続けて再生するには PLAY ボタンを押してください。(V11N:25)
- ・ 記録先を iSCSI に設定している際に、00:00:00～24:00:00 のスケジュールを設定して連続記録を行うと、PLAYBACK で映像を読み込むまでに 2 分程度かかる場合があります。  
記録先を iSCSI にする場合には、通常記録の周期的なスケジュールで 1 日最低 1 秒の空白を入れることを推奨します。(V11N:38)  
例) 開始時刻: 00:00:00 終了時刻: 23:59:59  
また、「すべてのモニターフレーム」にチェックを入れて PLAYBACK を行なうと、再生開始までの時間が増えますので、長時間の記録を行なっている場合には、「すべてのモニターフレーム」はチェックせずに PLAYBACK してください。

#### 4-2-4 メイン画面：モニタリング

- ・ モニタリングとスケジュール記録とで異なる映像設定をしているとき、記録開始および停止時にモニタリングの FPS が若干低下します。(V11R:625)
- ・ 記録中に Focus や Bright 設定を調整するとフレームの欠損が発生する場合があります。(V11N:489)
- ・ 再生カメラと同じレイアウトにホットスポットがある場合、再生カメラを選択すると、音声が出なくなることがあります。ホットスポットがアクティブなモニターフレームになっている時は、ホットスポット以外のモニターフレームを選択してアク

タイプにしてから **PLAYBACK** をしてください。(VT1:2247)

- [カメラコントロール]ペイン[調整]タブに表示されるフォーカス/明るさ/デイ・ナイトの値は、カメラ設定が他のクライアントやブラウザから変更されても表示上反映されません。(VT2:750)

メモ

クライアント: RealShot Manager Advanced Client

- カメラを 1280x960 以上の解像度に設定して **VMD(Recorder)**を行なうと、モニター画面上で動体に重なる検知枠の四角形において一辺が表示されない場合があります。(V11N:44)
- **RM-NS1000** からマニュアルアクションを操作する際、**RM-NS1000** の [Device Setup]を選択し、[**MANUAL ACTION**]を選択しても **NSR** の画面上に **Manual Action List** が表示されません。**Manual Action List** を表示させるには、**RM-NS1000** をマウスモードにして、**NSR** の画面右上のペインから[マニュアルアクション]を選択して表示してください。(V11N:207)
- 1fps 未満のフレームレートに設定したカメラの音声を記録する場合、音声と映像を同期して再生することが出来ません。例えば0.25fpsの映像記録を行なった場合、映像は4秒毎に1フレームの更新がされますが、音声は1フレームの映像に対して1秒間の音声を4回、繰り返し再生します。(V11N:368)
- 以下のカメラでは、カメラのプリセットツアーを開始および停止する際に数秒間、映像が停止します。プリセットツアー中、映像は正常に受信できます。(V11N:450, V14R:145)
  - SNC-RH シリーズ
  - SNC-RS シリーズ
  - SNC-EP シリーズ
  - SNC-ER シリーズ
- **SNC-xx600** シリーズでは、明るさ(**EV**)の調節機能をお使いいただけません。(M16:146)

#### 4-2-5 アナログカメラ操作

- ・ PTZ ができないアナログカメラでも「カメラコントロール」ペインやリモコンから、PTZ/FOCUS/BRIGHT の操作ができるように見えますが、これを行おうとすると、モニタリング画像および記録データが 1~2 秒停止しますので、PTZ ができないアナログカメラでは当該のコントロールを行わないでください。(VT1:1895)  
 また、PTZ が出来るカメラにおきましても以下の制限があります。(V11N:86, V11N:400)
  - ・ Auto Focus が使えないカメラがあります。その場合には **Manual Focus** をお使いください。
  - ・ **DIRECT PTZ** はご使用になれません。カメラコントロールペイン内のボタンやリモコンをお使いください。
  - ・ 画面内にマスクエリアを設定すると、カメラの PTZ 動作に関わらず固定のエリア上にマスクが配置されます。PTZ 操作を行なうカメラにはレコーダーのマスク機能はお使いになれません。
  - ・ **VMD(レコーダー)**を設定したアナログカメラで PTZ 操作を行なうと、カメラの PTZ 動作中にも動体が検知されます。
  
- ・ NSR-1000 本体とシリアルポートで接続しているカメラにて、パン／チルトボタンによる操作で、停止せずに PTZ し続ける場合があります。その際は、パン／チルトボタンのセンターにあるボタンで、停止してください。RM-NS1000 における操作の場合には、再度、センターに戻してください。また、ズーム操作の場合も停止せずにズーム動作が続く場合があります。その場合は、再度ズーム操作を行ってください。(M15:189)

#### 4-2-6 アラーム通知・履歴

- ・ あるカメラを再生中に、別のモニターフレームを選択し、アラーム履歴から同じカメラのアラームを選択して再生させようとする、再生をせずに **LIVE** となります。アラーム履歴から再生する場合は、モニターフレーム中に同じカメラの再生をしていないことを確認してください。(VT1:1687)
  
- ・ NSR 本体のセンサー入力や Barionet など、カメラ以外のデバイス入力をトリガー

としたアラーム記録を設定した場合、アラームが発生しても、アラーム履歴にはカメラ名は表示されずトリガー名だけが表示されます。アラーム履歴の行をダブルクリックしてもアラーム記録は再生されませんので、検索画面から検索して再生してください。(V11N:253, V11N:257)

- サーバーがしばらくシャットダウンしていると電源回復後、クライアントへアラーム通知が届かず、クライアントアクションが動作しないといった不具合につながる可能性があります。これを避けるため、サーバーの復帰後にはサーバーへの再接続(再度ログオンする)を実施してください。(M15:218)

#### 4-2-7 検索画面

- ひとつのデバイスでアラーム記録とスケジュール記録を同時帯に併用している場合:  
検索画面で、[前の記録]ボタンや[次の記録]ボタンで意図した記録にジャンプしないことがあります。この場合、タイムライン上で再生したい時刻付近を指定してください。(V11N:642)
- 検索結果のタイムライン表示において記録データを削除した場合、再度検索をおこなうと、削除されたはずのデータがタイムライン上に再表示されてしまう場合があります。その場合はもう一度検索をおこなってください。削除済みデータが検索結果に表示されなくなります。(VT1:1916)
- 検索画面のコマ送りおよびコマ戻しは、選択したモニターフレームに対して行われます。(VT1:1757)

#### 4-2-8 デバイス設定

- NSBK-A16 使用時、フレームレートの設定リストにおいて 0.25fps, 0.33fps, 0.5fps が選択できますが、この設定は、コーデックを MPEG4(I frame)にしたときのみ有効になります。MPEG4 を選択している場合は、それらのフレームレートを選択しても、実際には 1fps となります。(VT1:1842)
- 同じ型名のカメラは複数を選択して設定を一括で変更することができますが、29 台以上のカメラを同時に選択して設定を変更しようとする設定値のリス

トで最大値を選択できない場合があります。同じ型名のカメラを同時に設定変更する場合には 28 台以下を選択してください。(V11N:43)

- デバイス設定画面の映像タブで設定内容を変更後、[適用]ボタンを押さずに他のタブへ移動すると、映像タブに戻ったときに設定内容の表示が元の値に戻って表示されますが、[適用]ボタンを押すと変更後の値が保存されます。映像タブで設定内容を変更した場合には[適用]ボタンを押してから他のタブに移動してください。(V11N:61)

- PTZ 機能があるカメラに対してマスクを設定する場合、「PTZ 動作中は描画を停止する(Freeze Image during PTZ)」をチェック すると、PTZ 中はマスクが設定されたエリアでは描画が停止します。マスクが設定されていないエリアでは描画を継続します。

そのため、マスクが設定されていないエリアから PTZ を開始した場合、PTZ 中も描画が継続されて、マスクが設定されているエリアに戻った時点で描画を停止します。この際、高速で移動すると描画が停止するまでの間、マスクが設定されているエリア内も描画されますので、マスクを設定しているカメラで、マスクが設定されていないエリアに PTZ で移動した後、マスクが設定されているエリアへ戻す際にはゆっくり戻してください。

マスクを設定する際には PTZ 操作の確認をしてマスクの幅、大きさを調整してください。

また、カメラツアーで運用する際にも必ずマスクの確認をして、マスクの大きさやツアーの速度を調整してください。(V11N:150)

- 以下のカメラを登録直後に設定画面を開くと、「センサー入力」等のタブが表示されない場合があります。また、NTSC モデルにも関わらず、[映像]タブの解像度、フレームレートで PAL のリストが表示されることがあります。

その場合は[一般]タブを開いて映像が表示されるのを確認してから、一旦、カメラツリーで他のカメラを選択後、再度、そのカメラを選択してください。(V11N:363, V11N:446)

また、デバイス設定を連続して行なっている際に、設定内容の適用後、稀に画面の再描画で設定内容の一部が表示されないことがあります。その場合も一旦、カメラツリーで他のカメラを選択後、再度、そのカメラを選択してください。(V11R:521)

SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ

SNT-EP シリーズ

SNT-EX シリーズ

SNC-CH シリーズ

SNC-DH シリーズ

SNC-EP シリーズ

SNC-ER シリーズ

SNC-EB520, SNC-EM520, SNC-EM521

SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

- 以下のカメラで、VMD(Camera)を設定する際、設定画面では動体検知のプレビューを行なうことが出来ません。変更内容を適用後、メイン画面に戻って、モニターフレームにカメラをアサインして動体検知を確認してください。(V11N:304)

SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ

SNT-EP シリーズ

SNT-EX シリーズ

SNC-CH シリーズ

SNC-DH シリーズ

SNC-EP シリーズ

SNC-ER シリーズ

SNC-EB520, SNC-EM520, SNC-EM521

SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

- カメラを削除後に、削除した以外のカメラを選択すると、タブが一部表示されていない場合があります。このような場合は、デバイスの設定画面を閉じて画面を開きなおしてください。(M14:248)

- NSR-1000 Series では以下のカメラにおいて、映像 2 のストリームをご使用になることができません。(V14R:186)

SNC-CH135, SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

- マスター、スレーブ構成運用にて、スレーブ機を再起動した際、直後にクライアントからログオンすると、稀に[設定]や[検索画面]ウィンドウの各設定や選択が出来ないことがあります。これを避けるには、スレーブ機が立上ってから1分程間を空けてからクライアントログオンを行うようにしてください。また、遭遇した場合でも、クライアントから再度ログオンし直すことで正常に機能させることができます。  
(M14:174,175)

メモ

クライアント:RealShot Manager Advanced Client

- マスクを設定したカメラで解像度の設定を変更した場合には、再度、マスクを設定し直してください。(V11R:484)
- メディカルレコーダーHVO-1000MDにおいて、登録済みのHVO-1000MDのIPアドレスを変更すると、HVO-1000MDを含む以前に登録したカメラを削除できなくなります。HVO-1000MDのIPアドレスを変更して他のカメラやHVO-1000MDを再度削除するためには、NSR本体を再起動することで可能になります。
- メディカルレコーダーHVO-1000MDにおいて、HVO-1000MDを登録し、かつVMD(Recorder)を有効にすると、HVO-1000MDの映像のモニタリングの遅延が大きくなります。
- メディカルレコーダーHVO-1000MDにおいて、映像設定画面のFPS設定の変更後、Quality設定の変更を繰り返すと、設定が反映されないことがあります。映像設定を変更された場合は正しく設定されたかどうかをご確認ください。
- メディカルレコーダーHVO-1000MDにおいて、NSR-1050H, NSR-1100を利用すると、十分なパフォーマンスが出ないため、HVO-1000MDを利用する場合は、NSR-1200をご利用ください。

#### 4-2-9 サーバー設定

iSCSI ストレージを使用する場合、フラグメンテーションによるパフォーマンス低下を避けるため、ストレージ設定の[データ上書き]を有効にし、空き容量の[最小値]には、10%以上を設定することをお勧めします。(V14N:161)

#### 4-2-10 アクション設定

- レイアウト上のアイコンクリックや、マニュアルアクション、スケジュールアクションで設定された NSR ローカルの Beep アクションは 1 秒程度で停止します。スケジュールアクションで Beep を鳴らしても、Beep はすぐに停止しますので、オペレータが常時レコーダーの前にいるのでなければ、スケジュールアクションで Beep を鳴らすのではなく、アラームとして記録して、アラーム履歴でトリガーの発生を確認してください。(V11N:107)
- サーバー側で“緊急イベントを通知する”アクションスケジュールを作成しても、クライアント側ではそのアクションスケジュールが表示されず動作もしません。緊急イベントの通知を受けてダイアログを表示したい場合は、そのクライアントで [緊急イベントのダイアログを表示] のチェックに加えて上記のアクションスケジュールの作成をする必要があります。(V15N:263)

#### 4-2-11 スケジュール設定

- 複数のアラームトリガー(センサー入力、カメラ妨害検知、動体検知)を、それぞれ個別の記録スケジュールに登録すると、あるトリガーが ON になっている限り、別のトリガーで記録を始めることができません。記録漏れを防ぐため、以下のように設定してください。(V12R:57)
  - それぞれの記録スケジュールを個別に登録せずに、一つのスケジュールの中で、使用するすべてのトリガーを選択するようにしてください。
  - スケジュール登録時の [Alarm Record End] の設定は、必ず [From Alarm End] を選択してください。
- 以下のカメラおよびカメラサーバーで、スケジュール記録を設定したとき、実際の記録開始が設定した時刻よりも 1~2 秒遅れてしまいます。(V11R:638)

SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ

SNT-EP シリーズ

SNT-EX シリーズ

SNC-CH シリーズ

SNC-DH シリーズ

SNC-EP シリーズ

SNC-ER シリーズ

SNC-EB520, SNC-EM520, SNC-EM521

SNC-ZB550, SNC-ZM550, SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

- 動体検知によるイベント記録／アラーム記録やイベント／アラーム発生が5秒未満に複数回発生する環境で、イベント／アラーム記録を行う場合は、記録が設定した時間よりも早く終わってしまうことがあります。アラーム開始時の記録を確実に残す必要がある場合、アラーム記録期間は5秒以上となるように長めに設定してください。また、アラーム開始前時間を1秒以上設定するようにしてください。  
(V11R:759, V11N:543, V11R:851, V11N:614)
- 記録スケジュールの設定でスケジュール種類の変更を行う場合(例：アラーム記録->イベント記録)、デバイスの[映像]タブで設定する、スケジュール記録設定やアラーム/イベント記録設定の自動再読み込みはおこなわれません。カメラ設定に合わせるボタンをクリックして、設定を手動で取得しなおしてください。(VT1:1925)
- スケジュール画面でアクションを新規作成する際、作成画面を閉じて再度編集画面にした後、設定画面全体の閉じるボタンを押すと保存確認メッセージが表示されません。その時、保存確認メッセージが出ないまま、保存がされてしまいますので、キャンセルをしたい場合は、元の設定に再度設定しなおしてください。  
(VT1:2243)
- イベント・アラーム記録のスケジュールの設定におきまして、カメラの「全てのトリガーを表示する(Show All Triggers)」をチェックすることで、記録を行なうカメラ以外のトリガーを指定することができますが、設定を保存後に画面を再度、表示させると「全てのトリガーを表示する(Show All Triggers)」のチェックが外れた状態が表示されます。設定内容を確認する際には「全てのトリガーを表示する(Show All Triggers)」のチェックを入れてトリガーを確認してください。(V11N:241)

#### 4-2-12 その他

- SNC-xx600 シリーズ ファームウェア V1.4.0 で Edge Storage 機能を使用したとき、実時刻に対して約1分早いタイムスタンプで Edge Storage に記録されてしま

い、レコーダーの記録との間に約 1 分間のギャップが生じてしまう問題があります。  
(V16N:81)

- ログオンしたとき、実際にはカメラが登録されているにもかかわらず、カメラ自動登録ダイアログが表示されてしまうことがあります。少し時間をおいてログオンしなおすことで復旧できます。(V14N:163)
- [RealShot Manager Advanced Client]同梱のインテリジェントモニタリングソフトウェアにて、複数のサーバーを選択し記録画像を検索できますが、エクスポートする際、複数のサーバーから同時にエクスポートすることはできません。複数のサーバーからエクスポートする場合は、1サーバー毎に検索を実施しエクスポートを行なってください。出力先は必ず、サーバー毎に別フォルダを指定してください。万一同じフォルダを指定した場合、データは上書きされます。(M15:129)
- HVO-1000MD (HD VIDEO RECORDER) の記録画像をエクスポートし、Media File Playerにて、「Use "Select Cam or Aud file" mode」のチェックを外して再生すると、映像が跳んでしまう場合があります。その場合は、チェックを入れて、映像を再生してください。(M15:190)
- [RealShot Manager Advanced Client]同梱のインテリジェントモニタリングソフトウェアにて、アナログカメラのコントロールタブに「自動パンチルト速度」がありますが、ネットワークカメラ用に用意されたものでオン/オフによる動作はしません。この不具合を修正しました。(M15:107)
- 登録されたデバイスへのネットワーク接続ができないとき、システム起動時の関連サービスの開始に時間がかかることがあります。それにより、再起動直後にログオンすると[デバイス]ツリーに何も表示されないことがあります。システムの再起動前にネットワーク接続を確認することをお勧めします。本現象が起きた場合は、一度ログオフし、システムが再起動してから 5 分ほど経ってから再度、ログオンしてください。(V15N:254, V15R:126)

## 5 補足

### 5-1 主な機能追加履歴

#### 5-1-1 V1.6.1 で追加された機能

##### 5-1-1-1 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。(R295, R380)

SNC-ER585	SNC-ER585H			
SNC-VB600B	SNC-VM600	SNC-VM600B	SNC-VM601	SNC-VM601B
SNC-VM630	SNC-VM631			

##### ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第2章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は、1-3 [サポートカメラ情報](#)を参照してください。

#### 5-1-1-2 SNC-xx600 シリーズ (xx : アルファベット 2 文字) の機能追加対応 SNC-xx600 シリーズ (xx : アルファベット 2 文字) の VMF (カメラ) 機能と Edge Storage 機能に対応しました。(R295)

##### ご注意

SNC-xx600 シリーズ (xx:アルファベット 2 文字) は、レコーダーで Edge Storage 機能を有効にした場合、レコーダーからの映像要求が途絶えた時にカメラに装着された SD メモリーカードに記録される仕様になっています。(V16R:316)

ネットワーク切断以外で、不要な Edge Storage 記録がされる事を回避する為には、そのカメラをモニタリングしている状態、あるいは以下の記録スケジュールのいずれかを設定してください。

- ・スケジュール記録を設定する。
- ・アラーム記録／イベント記録を設定し、「記録開始」タイミングを「アラーム／イベント開始前」に設定する。

#### 5-1-1-3 記録画像エクスポート時の暗号化対応

記録画像のエクスポートの際、パスワードでデータを暗号化できるようになりました。(R383)

**5-1-1-4 カメラの機能制限解除**

下記のモデルについて、複数インスタンス設定時にも VMD（カメラ）が使用できるようになりました。(R381)

SNC-CH120	SNC-CH160	SNC-DH120	SNC-DH120T	SNC-DH160
SNC-CH220	SNC-CH260	SNC-DH220	SNC-DH220T	SNC-DH260
SNC-ER580	SNC-EP580	SNC-ER550	SNC-EP550	SNC-ER520
SNC-ER521	SNC-EP520	SNC-EP521	SNC-CH110	SNC-DH110
SNC-DH110T	SNC-CH210	SNC-DH210	SNC-DH210T	SNC-EM520
SNC-EM521	SNC-EB520			

**5-1-1-5 サーバーポート設定の改善**

サーバーポート設定の際、使用中ポートとの競合を避けるようにチェックを強化しました。(R386)

**5-1-1-6 ONVIF Profile S 正式サポート**

ONVIF Profile S に定められた必須機能に対応しました。(R216)

ご注意

- ・ ONVIF Profile S で接続するカメラとレコーダーとは必ず時刻を同期させてください。
- ・ ONVIF Profile S で接続する場合、一部の設定や機能が機種仕様に依存する場合があります（ビデオ設定、PTZ 動作など）。その場合、使用している機種のマニュアル等をご参照ください。
- ・ 実際の運用にあたっては事前に十分な動作確認を実施の上、ご使用ください。

**5-1-1-7 NSBK-A16H および NSBK-A16 のアナログ入力状態検知**

NSBK-A16H および NSBK-A16 のアナログ入力がない状態を検知し、VIDEO LOSS として通知するようになりました。(R145)

**5-1-2 V1.6.0 で追加された機能****5-1-2-1 サポートカメラの拡充**

弊社製ネットワークカメラ、SNC-VB600 と SNC-VB630 に対応しました。(R295)

**ご注意**

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第 2 章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は、1-3 [サポートカメラ情報](#) を参照してください。

**5-1-2-2 Edge Storage 記録の対応**

弊社製カメラの Edge Storage 記録に対応しました。

本機能を有効にすると、Edge Storage 機能を有するカメラのメモリーに保存された画像を NSR-500 シリーズにダウンロードして利用することができます。

(R246)

**5-1-2-3 複数 Stream 送信が可能なカメラへの対応モデルを拡充**

複数の Stream 送信機能を有するカメラで以下のモデルに対応しました。

SNC-CH210	SNC-DH210	SNC-CH120	SNC-DH120	SNC-DH120T
SNC-CH160	SNC-DH160	SNC-CH220	SNC-DH220	SNC-DH220T
SNC-CH260	SNC-DH260	SNC-CH110	SNC-DH110	SNC-DH110T
SNC-DH210T	SNC-EP520	SNC-EP521	SNC-EP580	SNC-CH115
SNC-ER520	SNC-ER521	SNC-ER580		
SNC-EP550	SNC-ER550	SNC-EB520	SNC-EM520	SNC-EM521

これらのカメラで映像の記録とモニタリングの各機能を同時に使用する場合に異なった映像設定が可能となります。(R217)

**ご注意**

本機能はカメラの性能によっては映像設定が不可能な組み合わせや、同時に使用

できない機能が存在します。NSR-1000 シリーズでは不可能な設定ができないよう、設定項目の表示での制限やメッセージによる通知を行っていますが、詳細はカメラの関連資料を参照してください。

#### 5-1-2-4 カメラの音圧検知機能への対応

カメラの音圧検知機能を使用した記録機能を追加しました。

カメラの音圧検知機能を設定することができます。また、音圧検知をトリガーとした記録を行うことが可能です。対応したカメラは以下のモデルです。(R228)

SNC-CH280	SNC-DH280	SNC-CH240	SNC-DH240	SNC-DH240T
SNC-CH180	SNC-DH180	SNC-CH140	SNC-DH140	SNC-DH140T
SNC-RH164	SNC-RH124	SNC-RS86N/P	SNC-RS84N/P	SNC-RS46N/P
SNC-RS44N/P	SNT-EX101	SNT-EX101E	SNT-EX104	SNT-EX154

#### ご注意

音圧検知機能はカメラの機能となります。検知精度はカメラの性能に依存します。

#### 5-1-2-5 ONVIF Profile S サポート(prototype)

ONVIF Profile S に準拠した機能を搭載しました。

カメラの登録（自動検出を除く）、モニタリング、記録の基本機能は使用が可能です。ただし、カメラによって利用できる機能に制限がある場合があります。

(M16:79)

#### ご注意

ONVIF Profile S に適合していることが検証されているわけではありません。実際の運用にあたっては動作確認の上、お客様の責任でご利用ください。

### 5-1-3 V1.5.1 で追加された機能

#### 5-1-3-1 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-CH115, SNC-CH135, SNC-EP520, SNC-EP521, SNC-EP550,  
SNC-EP580, SNC-ER520, SNC-ER521, SNC-ER550, SNC-ER580,  
SNC-EB520, SNC-EM520, SNC-EM521, SNC-ZB550, SNC-ZM550  
SNC-ZM551, SNC-ZP550, SNC-ZR550

#### ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第2章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は1-3 [サポートカメラ情報](#)を参照してください。

#### 5-1-3-2 カメラ自動登録機能および簡単設定ガイドの追加

同一ネットワークセグメントに存在する工場出荷設定のカメラを探して自動的に登録するカメラ自動登録機能を追加しました。V1.5.1 をクリーンインストールした場合、初回起動時にこの機能が動作します。

また、従来の設定画面に加え、ウィザード形式で簡単に初期設定やカスタマイズが行える、簡単設定ガイドを追加しました。

詳細については設置説明書を参照してください。

#### 5-1-3-3 データベースサービスの異常検出と自動復旧機能

データベースサービスは記録情報や設定情報等を管理しています。動作中のデータベースサービスに異常が検出されると、異常が通知されリカバリ処理を自動で行います。

##### **ご注意**

データベースサービスの自動リカバリ処理は状況によって失敗する場合があります。その際には復旧のため、システムの再起動が必要となります。

#### 5-1-3-4 緊急イベント通知機能

“VIDEO LOSS”、“記録停止”と“ハードウェアエラー”を“緊急イベント”として、緊急イベント通知機能を追加しました。緊急イベントは発生したら、RealShot Manager Advanced Client のダイアログで通知することができます。詳細についてはユーザーガイドを参照してください。

##### **ご注意**

“ハードウェアエラー”は NSR-1000 用のためのものですが、RealShot Manager Advanced Client でのみ通知を受けます。

#### 5-1-3-5 デフォルトアクセス権機能

デフォルトアクセス権の設定を追加しました。ユーザー追加時またはデバイ

ス追加時にアクセス権を与えるかどうかを、この設定によって選択することができます。詳細についてはユーザーガイドを参照してください。

**ご注意**

本設定によらず、Level 5 ユーザーにはすべてのアクセス権が自動的に付与されます。

**5-1-3-6 マスター/スレーブ構成でのパフォーマンス改善**

マスター/スレーブ構成でのパフォーマンスを改善しました。特に、RealShot Manager Advanced Client からのログオン、検索機能と設定変更時（ユーザーやデバイスの追加、削除と変更時）のパフォーマンスが向上しています。

**5-1-3-7 システムログレベルの細分化**

現状、ログのレベルは高い順から EMERGENCY、ERROR、WARNING、NOTICE となっています。EMERGENCY レベルのログ出力を再定義し、EMERGENCY レベルのログ出力の際に、ERROR LED を点灯させ、より迅速な対応を行うための情報提供を強化しています。

**5-1-3-8 ログダイアログの表示改善**

ログダイアログでログレベルを設定すると、表示するログを絞り込めます。

**5-1-3-9 エクスポートファイル制限変更**

エクスポートするデータのサイズ上限には、これまで明確な制限がありませんでした。また、レコード数は 100 までに制限されていました。本バージョンから、エクスポートするデータは 200GB 以内、かつ 1000 レコードまでとなります。

**5-1-4 V1.4.0 で追加された機能**

**5-1-4-1 サポートカメラの拡充**

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-CH110, SNC-DH110, SNC-DH110T, SNC-DH210T

### ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第2章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は [1-3 サポートカメラ情報](#) を参照してください。

#### 5-1-4-2 メディカルレコーダーHVO-1000MD に対応

メディカルレコーダーHVO-1000MD からのストリーミング受信に対応しました。登録、使用時の詳細な注意事項については、第3章の「デバイス登録」、およびメディカルレコーダーのマニュアル等を参照してください。

#### 5-1-4-3 アナログ入力ボード NSBK-A16H に対応

NSR-1000 Series の新たなオプションとして、H.264 と JPEG でのエンコードが可能なアナログ入力ボード NSBK-A16H をサポートしました。製品の詳細については、NSBK-A16H の製品情報を参照してください。

#### 5-1-4-4 マニュアルアクション、レイアウト数の拡張

マニュアルアクション、カスタムレイアウトの数を従来の 100 から 255 に拡張しました。

#### 5-1-4-5 RAID ファームウェアの更新

NSR-1200 に内蔵されているハードウェア RAID のファームウェアが更新されました。

対策された問題:

- ・ Read Error 発生時に処理が競合し、RAID システムがハングアップして、システム全体が停止してしまっていました。

### メモ

ソフトウェアバージョン V1.4.0 で出荷される NSR-1200 の RAID ファームウェアは、すべて更新済みです。また、V1.4.0 の更新パッチを適用したとき、古いファームウェアは自動更新されます。

#### 5-1-5 V1.3.2 で追加された機能

##### 5-1-5-1 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-CH220, SNC-CH260, SNC-DH220, SNC-DH220T, SNC-DH260

#### ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第2章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は [1-3 サポートカメラ情報](#) を参照してください。

#### 5-1-6 V1.3.1 で追加された機能

##### 5-1-6-1 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-CH210, SNC-DH210,  
SNC-CH120, SNC-CH160, SNC-DH120, SNC-DH120T, SNC-DH160,  
SNC-CH240, SNC-CH280, SNC-DH240, SNC-DH240T, SNC-DH280

#### ご注意

本ソフトウェアリリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第2章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は [1-3 サポートカメラ情報](#) を参照してください。

##### 5-1-6-2 インターネットからのクライアントアクセスをサポート

ルーターに NAT (Network Address Translation) を設定することにより、インターネットからの RealShot Manager Advanced クライアントのアクセスが可能になりました。なお、UPnP (Universal Plug and Play) 対応のルーターをお使いの

場合、この設定作業が簡単に行えます。  
詳細についてはユーザーガイドを参照してください。

#### 5-1-6-3 64ビット版 OS のサポート (NSR Client)

本バージョンから、以下の OS、エディションをサポートしました。

Windows 7 Professional (64 ビット版)

Windows 7 Enterprise (64 ビット版)

#### ご注意

Windows 7 でお使いになる場合、必ず以下の設定をしてください。

- ・ 一定時間が経過後、スリープや休止状態にならないようにする。
- ・ Windows Aero を無効にする(Aero テーマを使用しない)。

#### 5-1-6-4 言語対応

(ブラジル)ポルトガル語と中国語(繁体字)をサポートしました。

#### 5-1-7 V1.2.0 で追加された機能

##### 5-1-7-1 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-CH180, SNC-DH180, SNC-DH140T

NSR-1000 Series で対応する主な機能は以下のとおりです。

- ・ 画像サイズ 1280x1024 に対応
- ・ View-DR 設定

#### ご注意

本バージョンでは、SNC-CH180 および SNC-DH180 の IR 照射設定、およびカメラファームウェア V1.10 で予定されているカメラの新機能についてはサポートしていません。

また、本ソフトウェア V1.2.0 リリース時点で未発売のモデルについては、発売時に予定されている仕様での検証をもって、サポート対象機種としています。

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第2章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は1-3 [サポートカメラ情報](#) を参照してください。

#### 5-1-7-2 Windows 7 32 ビット版のサポート (NSR Client)

本バージョンから、NSR Client (RealShot Manager Advanced Client)で以下のWindows 7 32 ビット版の各エディションをサポートしました。

Windows 7 Professional

Windows 7 Enterprise

#### **ご注意**

Windows 7 でお使いになる場合、必ず以下の設定をしてください。

- ・ 一定時間が経過後、スリープや休止状態にならないようにする
- ・ Windows Aero を無効にする(Aero テーマを使用しない)

#### 5-1-8 V1.1.2 で追加された機能

##### 5-1-8-1 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-CH140, SNC-DH140

NSR-1000 Series に対応する主な新機能は以下のとおりです。

- ・ 画像サイズ 1280x1024 に対応
- ・ View-DR 設定

なお、上記ネットワークカメラへの対応に関する限定事項等につきましては、第2章以降の各章を参照してください。

その他対応機種一覧は1-3 [サポートカメラ情報](#) を参照してください。

##### 5-1-8-2 VMF アラーム受信機能

以下の弊社製ネットワークカメラおよびカメラサーバーについて、それらの機器に設定した VMF のアラームを受信し、記録やアクションのトリガーとして利用できるようになりました。

ネットワークカメラ:

SNC-CH140, SNC-DH140, SNC-RH124, SNC-RH164, SNC-RS44,  
SNC-RS46, SNC-RS84, SNC-RS86

カメラサーバー:

SNT-EX101, SNT-EX101E, SNT-EX104, SNT-EX154

この機能を利用する場合、設定画面の[VMD]タブで[VMF(Camera)]を選択してください。ネットワークカメラおよびカメラサーバー本体の VMF の設定は、各機器に Web Browser で接続して行ってください。

#### **5-1-9 V1.1.1 で追加された機能**

##### **5-1-9-1 複数コーデック対応**

以下の弊社製ネットワークカメラおよびカメラサーバーで、複数のコーデックを設定できるようになりました。

ネットワークカメラ(最大 3 コーデック):

SNC-RS44, SNC-RS46, SNC-RS84, SNC-RS86

ネットワークカメラ(最大 2 コーデック):

SNC-RH124, SNC-RH164

カメラサーバー(最大 2 コーデック):

SNT-EP104, SNT-EP154, SNT-EX101, SNT-EX101E, SNT-EX104,  
SNT-EX154

##### **5-1-9-2 簡易動体検知対応**

以下の弊社製カメラサーバーで、簡易動体検知を VMD(Camera)のアラームとして設定し、利用できるようになりました。

カメラサーバー:

SNT-EP104, SNT-EP154

##### **5-1-9-3 H.264 コーデック対応**

以下の弊社製ネットワークカメラについて、H.264 コーデックが使用できるようになりました。H.264 を使用するには下表のファームウェアを使用してください。

Camera Model Name	Camera Firmware Version
SNC-RX530	v3.10/2.40 or higher
SNC-RX550	v3.10/2.40 or higher
SNC-RX570	v3.10/2.40 or higher
SNC-CS50	v2.30 or higher
SNC-RZ50	v2.40 or higher
SNC-DF50	v1.20 or higher
SNC-DF80	v1.20 or higher
SNC-DF85	v1.20 or higher

#### 5-1-9-4 言語対応

サポート言語として、ポーランド語と韓国語が追加されました。

#### 5-1-10 V1.1.0 で追加された機能

##### 5-1-10-1 サポートカメラの拡充

以下の弊社製ネットワークカメラおよびカメラサーバーに対応しました。

ネットワークカメラ:

SNC-RS44, SNC-RS46, SNC-RS84, SNC-RS86, SNC-RH124, SNC-RH164

カメラサーバー:

SNT-EP104, SNT-EP154, SNT-EX101, SNT-EX104, SNT-EX154

NSR-1000 Series に対応する主な新機能は以下のとおりです。

- ・ H.264 サポート
- ・ カメラ妨害検知機能
- ・ シャドウツアー機能
- ・ Visibility Enhancer 設定
- ・ XDNR 設定

なお、上記ネットワークカメラおよびカメラサーバーへの対応に関する限定事項等につきましては、各章を参照してください。

また、以下の IQinVision 社製カメラに対応しました。

IQeye510, IQeye703, IQeye705, IQeye711, IQeye752, IQeye753, IQeye755

その他対応機種一覧は1-3 [サポートカメラ情報](#) を参照してください。

#### 5-1-10-2 システムコントローラーRM-NS1000 対応

弊社製システムコントローラーRM-NS1000に対応しました。詳細はRM-NS1000の設置説明書およびユーザーガイドを参照してください。

#### 5-1-10-3 iSCSI ストレージ対応

NSR-1000 Series の外付けストレージとして、iSCSI RAID をサポートしました。設置、接続方法等につきましては、別途提供される技術資料、NSR-1000 Series の設置説明書およびユーザーガイドを参照してください。

#### 5-1-10-4 4CIF 解像度対応

以下の弊社製ネットワークカメラについて、4CIF 解像度(PAL: 704x576, NTSC: 704x480)をサポートしました。

Camera Model Name	Camera Firmware Version
SNC-RX530	3.10/2.40 or higher
SNC-RX550	3.10/2.40 or higher
SNC-RX570	3.10/2.40 or higher
SNC-CS50	2.30 or higher
SNC-RZ50	2.40 or higher
SNC-DF50	1.20 or higher
SNC-DF80	1.20 or higher
SNC-DF85	1.20 or higher (*1)

\*1 SNC-DF85を接続して4CIFの解像度をお使いになる場合にはファームウェア V1.20 以上をお使いください。それより前のファームウェアをお使いの場合、解像度設定で4CIFを選択しないでください。

#### 5-1-10-5 アイコンハイライト機能

カスタムレイアウトのアイコン(イメージ)に関連付けたアラームもしくはイベントが発生したとき、そのアイコンの周りに赤枠を点滅させる、アイコンハイライト機能をサポートしました。詳細についてはユーザーガイドを参照してください。

#### **5-1-10-6 自動ログオン機能**

アプリケーションを起動する際、NSR-1000 Series のユーザー認証を不要とする自動ログオン機能をサポートしました。詳細についてはユーザーガイドを参照してください。

#### **5-1-10-7 ONVIF 対応**

ONVIF Version 1.01 に対応しました。

- ・ カメラの登録は単体での登録にのみ対応しています。Device Type を ONVIF で登録してください。
- ・ JPEG のストリーミングのみ対応しています。
- ・ 全ての ONVIF v1.01 適合カメラとの動作を保証するものではありません。

## 5-2 主な修正履歴

### 5-2-1 V1.6.1 で解決された限定事項

- ・ SNC-xx600 シリーズで、映像設定の CBR/VBR 設定で VBR を使用した場合に正しく映像設定ができない問題を修正しました。
- ・ SNC-xx600 シリーズの Edge Storage 機能に対応しました。
- ・ サーバー側で“緊急イベントを通知する”アクションスケジュールを作成しても、クライアント側ではそのアクションスケジュールが表示されず動作もしない問題を修正しました。(V15N:263)
- ・ Edge Storage 機能による記録で、PTZ 動作にマスクが追従しない問題を修正しました。(V16R:45)
- ・ 一部のカメラで複数 Stream 設定時、640x480 を超える解像度に設定できてしまう問題を修正しました。(M16:44, Q:997)
- ・ [C] RealShot Manager Advanced (Client)で Direct2D を有効にし、NSR にログオンしたとき、30 秒ほど経過するとサーバーにもカメラにもアクセスできなくなる問題を修正しました。(V16R:335)

### 5-2-2 V1.6.0 で解決された限定事項

#### 5-2-2-1 設置・システム設定

- ・ "Enable NTP Server"の機能を有効にし、さらに他の NTP サーバーから時刻の取得をする設定をしていない場合に徐々に NSR-1000 本体の時刻がずれることがありました。(Q:813)  
上記の不具合を対策しました。
- ・ ごく稀に NSR の起動に失敗し、正常に起動するまでに時間がかかることがありました。(V14N:43, V16N:11)  
上記の不具合を対策しました。

- ・ 電源断が起きた際、ごく稀に NSR が再起動時にシステムファイルの破損により立ち上がらなくなることがありました。  
上記の症状が発生した場合にシステムファイルの修復ができるように改善しました。

#### **5-2-2-2 メイン画面・モニタリング**

- ・ ERROR ランプをクリックしログを確認する際、稀に GUI が異常終了することがありました。(M15:308)  
上記の不具合を対策しました。
- ・ SNT-V704 のカメラツアアが動作しませんでした。(M16:15)  
上記の不具合を修正しました。
- ・ サーバーでエラーが発生していないにもかかわらず、クライアントの ERROR ランプが点灯してしまうことがありました。(M16:119, Q:937)  
上記の不具合を修正しました。
- ・ NSR 起動直後にログオンしたり、自動ログオン機能を有効にしたりしている場合、カメラ等のツリー表示やモニターフレームにアサインされたカメラの映像が正しく表示されないことがありました。(M16:120, M16:138, Q:948)  
上記の不具合を修正しました。

#### **5-2-2-3 デバイス登録**

- ・ カメラの交換や IP アドレスの変更をするため、まとめて複数のデバイスを選んで削除した後、デバイスの追加をする場合は、3 分程度待つ必要がありました。(M15:226)  
上記の不具合を対策しました。

#### **5-2-2-4 デバイス設定**

- ・ プリセット名の入力中に、左側のツリーにあるデバイスをクリックすると GUI が異常終了しました。(M15:311)  
上記の不具合を対策しました。

- ・ レイアウトツアー中やレイアウト切り替えを行っている場合に、デバイスの codec 設定を H.264 および MPEG4 から JPEG へ変更すると本体動作が不安定になる場合があります。(M15:236)  
上記の不具合を対策しました。

#### 5-2-2-5 その他

- ・ メイン画面よりログオフ後、直ぐにログオンの為にユーザー名を入力すると、稀に GUI が異常終了することがありました。(M15:215)  
上記の不具合を対策しました。
- ・ ログオフ処理中、稀に GUI が異常終了し、ERROR ランプが点灯することがありました。(M15:232)  
上記の不具合を対策しました。
- ・ E-Flip(Recorder)を使用して記録された映像は、Media File Player を用いて再生した場合、NSR-1000 の表示とは上下反転の映像となっていました。また、”Rotate 180 degrees” の状態で “AVI コンバート” しても上下反転の再生画像とはなりませんでした。(M15:72)  
上記の不具合を対策しました。

### 5-2-3 V1.5.1 で解決された限定事項

#### 5-2-3-1 設置・システム設定

- ・ ロシア語キーボードを使用中、管理メニューのセットアップメニューでキーボードの設定を[ロシア語]にすると、ユーザー名とパスワードがロシア語で入力されてしまうため、ログオンできませんでした。(V15N:144, Q:871)  
この不具合を修正しました。
- ・ ログオンを管理するモジュールの不具合により、まれにログオンに失敗することがあり、復旧のためには本体の再起動が必要だった。(Q:841)  
この不具合を修正しました。
- ・ 管理メニューのセットアップメニューで、Date and Time にインドのタイムゾーン

ン(GMT+05:30) が設定できませんでした。(Q:686)

この不具合を修正しました。

#### 5-2-3-2 デバイス登録

- カメラの交換や IP アドレスの変更をするため、まとめて複数のデバイスを選んで削除した後、デバイスの追加をする場合は、3 分程度待ってから行ってください。デバイスをまとめて削除する処理が完了していない場合があり、このときデバイス追加を行うと内部的なデバイス情報の不整合が起これ、GUI が異常終了することがあります。なお、この場合でも、ログオンしなおすことで最新のデバイス情報が表示されるようになります。この問題を避けるために、カメラの交換をする場合は、なるべく 1 台削除、1 台追加という手順で行ってください。またカメラの IP アドレスは、各カメラのデバイス設定画面にある一般タブにて変更することができます。(V15N:169, M15:226)

この不具合を修正しました。

- レイアウトツアー中やレイアウト切り替えを行っている場合に、デバイスの codec 設定を H.264 および MPEG4 から JPEG へ変更すると本体動作が不安定になる場合があります。これを避けるために、デバイスの codec 設定を JPEG へ切り替える場合には、レイアウトツアーの停止などレイアウトの切り替えを止めてから設定変更を行なってください。(V15N:171, M15:236)

この不具合を修正しました。

- スケジュール記録等、記録を行なっている間に、VMD 設定を変更すると記録が停止してしまうことがあります。これを回避する為には、スケジュール記録等、記録をすべて停止してから VMD 設定を変更して頂くか、変更後は、本体を再起動することをお勧め致します。(V15N:151, M15:239)

この不具合を修正しました。

#### 5-2-3-3 メイン画面

- メイン画面のペイン伸縮ボタンを閉じたり、開いたりするとボタンが複製されました。(V15N:12, M15:50)

この不具合を修正しました。

- RM-NS1000 から検索画面を表示する場合、GUI がリスタートしてしまいました。  
この不具合を修正しました。(M14:92)

メモ

RM-NS1000: システムコントローラー

#### 5-2-3-4 検索画面

- 検索画面にて、アラームまたはイベント記録のトリガー種別を選択した場合、V1.3.1 以降では検索結果が正しくないことがありました。(M15:76)  
この不具合を修正しました。
- 検索画面にて、選択したカメラの記録データがない時間帯にウォーカーが位置していると、エクスポートボタンが押せないことがありました。(M15:123,126)  
この不具合を修正しました。
- カメラサーバーの入力の映像信号がなくなった状態の記録が行われた場合、その記録映像の時刻を含む検索(検索画面、GO ボタン、Playback、Playback Control)後、選択した位置の映像を正しく再生しない不具合を修正しました。(V14R:204)

#### 5-2-3-5 デバイス設定

- 複数の映像設定が可能なカメラを複数台選択した際に、これまでは映像 1 しか設定できませんでしたが、カメラの映像設定数にあわせて設定できるようになりました。(M12:6, M14:2, M14:32)
- 機種異なるカメラを複数選択すると、[映像]タブが現れない場合があります。  
この不具合を修正しました。(M12:72, M14:85)
- 複数のクライアントがサーバーに接続している状態で、ある 1 台のクライアントからカメラの設定変更を行った際、サーバーの負荷が上昇し、すべてのクライアントでの操作に支障をきたしてしまう不具合を修正しました。(V15N:252, Q:900)

#### 5-2-3-6 サーバー設定

- 削除したデバイスに記録されたデータを、オーバーライト機能では上書きしませんでした。この不具合を修正しました。(M14:117)

#### 5-2-3-7 アクション設定

- カメラのアラーム出力を反転状態で使用すると、そのカメラのセンサー入力や VMD (カメラ) をトリガーとしたアラーム/アクションが正しく動作しない問題を修正しました(M14:3, V14R:209, Q657)

#### 5-2-3-8 スケジュール設定

- スケジュール記録を設定する時、記録するカメラが一つもない状態でスケジュールを保存すると、GUI が異常終了してしまう不具合を修正しました。(M15:139)

#### 5-2-3-9 エクスポート

- USB フラッシュメモリーにデータを書き込み中に、本体より USB フラッシュメモリーを取り外すと本体が突然シャットダウンしてしまう不具合を修正しました。ただし、書き込み中に取り外すとその書き込まれたデータは保障されません。データ書き込みが終了するまで、取り外すことは絶対に行わないでください。(M15:111)
- USB フラッシュメモリーの空き容量が足りない場合に、エクスポートを行なうと GUI がリスタートしてしまいました。この不具合を修正しました。(M14:150)
- 記録映像データをエクスポートする際に、指定した映像が正しくエクスポートされない場合があります。この不具合を修正しました。(M14:228)

#### 5-2-3-10 その他

- メイン画面よりログオフ後、直ぐにログオンの為にユーザー名を入力すると、稀に GUI が異常終了することがありますが、記録等、その他の処理に問題はありません。これを回避する為には、しばらく時間を空けてから再度ログオンを実施してください。この不具合を修正しました。(V15N:168, M15:215)
- ログオフ処理中、稀に GUI が異常終了することがありますが、記録等、その他の処理に問題はありません。ただし、**ERROR** ランプが点灯することがあります。その場合は、メイン画面より **ERROR** ランプをクリックしログを確認することで正常な状態に戻すことができます。この不具合を修正しました。(V15N:170, M15:232)

- ・ システムアラートを設定しているときに、NSR-1000 本体の H/W エラーの通知がされないことがある不具合を修正しました。(M15:222)

#### **5-2-4 V1.4.0.62 で解決された限定事項**

- ・ 本体を再起動もしくはシャットダウンしたとき、正常に終了処理が行われずファイルシステムが破損し、本体が起動できなくなる不具合を修正しました。(V14N:227)
- ・ システム情報のエクスポート時に、エクスポートが終了せずエクスポート画面がフリーズする不具合を修正しました。(V14N:220)
- ・ システムの状態を監視するプログラムが異常終了する可能性がありました。この不具合を修正しました。(V14N:219)
- ・ 突然の電源断などで本体が異常終了した際に、ファイルシステムが破損し、本体が起動できなくなる不具合を修正しました。(V14N:218)
- ・ NSR-1200 において内蔵 RAID カードの温度検知がまれに失敗する不具合を修正しました。(V14N:217)
- ・ NSR-1100 においてディスクの RAID の状態検知がまれに失敗する不具合を修正しました。(V14N:216)
- ・ 記録の開始時に、まれに 15 秒間記録が始まらない不具合を修正しました。(V14N:215)
- ・ カメラサーバーの入力信号がなくなった状態の記録が行われた場合、その記録映像の時刻を含む検索（検索画面、GO ボタン、Playback、Playback Control）後、選択した位置の映像を正しく再生しない不具合を修正しました。(V14N:204, Q664)
- ・ NSR-1000 series において、再起動を行ってもまれに正常に起動せず、再起動を繰り返す不具合を NSR series 本体の BIOS アップデートにより修正しました。(V14N:228)

- メディカルレコーダーHVO-1000MDに接続し、モニタリングしていると、映像が緑色になり戻らない不具合を修正しました。(V14N:194)

#### 5-2-5 V1.4.0で解決された限定事項

- ストレージ設定で、記録先を「カメラごとにストレージを設定する(カメラモード)」でカメラの記録先を変更しても、音声はDefaultのストレージに記録されてしまう不具合を修正しました。(V11R:272)
- レイアウトツアーを長期間にわたり(1週間以上)連続稼働させていると、モニターフレーム内の描画が止まり、正常動作しなくなってしまうことがありました。この不具合を修正しました。(V14N:6)
- 以下のカメラのカメラツアーを、アクションとして設定できない不具合を修正しました。(V14N:81, V14R:45)
  - SNC-RH シリーズ
  - SNC-RS シリーズ
- 検索画面のタイムラインで、一度でも[コマ送り]や[コマ戻し]を行うと、タイムラインで指定した位置にジャンプしない不具合を修正しました。(V14N:119)
- 記録をしていないカメラで、モニタリングの開始、停止を多くの回数繰り返していると、RSMSServerが異常終了してしまう不具合を修正しました。(V14N:141)
- CPU使用率のチェック基準が厳し過ぎたため、運用に支障がない程度の負荷であっても、警告を発してしまう不具合を修正しました。(V14N:167)
- 以下のカメラに対して、フレームレート 12fps と 16fps が設定できるようになりました。(V14N:7)
  - SNC-CH140, SNC-CH180, SNC-DH140, SNC-DH140T, SNC-DH180
  - SNC-CH240, SNC-CH280, SNC-DH240, SNC-DH240T, SNC-DH280
- SMTP 認証を使用しない設定にしたとき、実際には認証が不要な場合でも、e-mail 送信が出来ないことがありました。この不具合を修正しました。(V14R:6)

- Master/Slave 構成のシステムで、IP アドレスを変更したとき、Slave サーバーを Master サーバーに登録できない不具合を修正しました。(V14N:138, V14R:108)
- モニターフレームをダブルクリックして 1x1 にした後、アラームヒストリーから記録を選択し再生させたとき、元のレイアウトに戻ってしまう不具合を修正しました。(VT1:1689)
- モニター画面を静止面にキャプチャする際には、CIF/4CIF 解像度の場合でもアスペクト比を 4:3 に縮めて JPEG に変換されます。VGA(640x480)のように縦横比が 4:3 の解像度の場合にはそのまま JPEG に変換されます。  
例: NTSC/CIF(352x240)の場合: 320x240  
PAL/CIF(352x288)の場合: 352x264  
また、カメラの解像度を 2CIF に設定している場合には、画面縦幅を基準に 4:3 のアスペクト比に変換されます。  
例: NTSC/2CIF(704x240)の場合: 320x240  
PAL/2CIF(704x288)の場合: 384x288  
(V11N:37, V14N:15)  
この不具合が修正されました。

#### 5-2-6 V1.3.2 で解決された限定事項

- 以下のカメラの[映像]タブで、モニタリングに対して 640x480 以下の画像サイズ、記録に対してコーデック H.264 かつ 1920x1080 などの大きな画像サイズを設定すると、カメラの制約よりも低いフレームレートしか設定できない不具合を修正しました。(V13R:607)  
SNC-CH240, SNC-CH280, SNC-DH240, SNC-DH240T, SNC-DH280
- 以下のカメラで、1280x1024 を超える画像サイズの複数のコーデックを設定できてしまう不具合を修正しました。(V13R:443)  
SNC-CH240, SNC-CH280, SNC-DH240, SNC-DH240T, SNC-DH280
- Event Action Server の動作が停止してしまう不具合を修正しました。(V13N:348)

- NSR-1200(1TB HDD 搭載モデル)の RAID タイプを 1+0 または 0 に変更した場合、STATUS LED が RAID データボリュームの異常 (STATUS LED 1=点灯、2=点灯、3=点灯、4=消灯、ERROR LED=点灯)を示す不具合を修正しました。(V13N:300)

#### 5-2-7 V1.3.1 で解決された限定事項

- 以下の弊社製ネットワークカメラおよびカメラサーバーにおいて、設定画面から Visibility Enhancer を [Off] に設定することができない不具合を修正しました。

(V12R:124)

SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ

SNT-EP シリーズ

SNT-EX シリーズ

- 以下の弊社製ネットワークカメラにおいて、[View-DR]の[ON]から[OFF]への変更と、[Visibility Enhancer]の[Off]の設定を一度に適用すると、[Visibility Enhancer]が[Middle]に設定されてしまう不具合を修正しました。(V12R:111)

SNC-CH140, SNC-CH180, SNC-DH140, SNC-DH140T, SNC-DH180

- 以下の弊社製ネットワークカメラにおいて、設定画面の[映像]タブで[View-DR]をオフに設定しておかなくても、カメラコントロールペインで明るさ(EV)の調整ができてしまう不具合を修正しました。(V11R:829)

SNC-CH140, SNC-CH180, SNC-DH140, SNC-DH140T, SNC-DH180

- 以下の弊社製ネットワークカメラおよびカメラサーバーのファームウェアが V1.10 の場合でも、カメラからの妨害検知のイベントが自動的に 1 分でクリアされるようになりました。(V12R:7)

SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ

SNT-EX シリーズ

- 以下の弊社製ネットワークカメラ、カメラサーバーで VMD(カメラ)を設定する場合:

SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ

SNT-EP シリーズ

SNT-EX シリーズ

SNC-CH140, SNC-CH180, SNC-DH140, SNC-DH140T, SNC-DH180

設定画面の[VMD]タブで[有効]にチェックをして[適用]しただけでは、カメラに動体検知の設定がされない不具合を修正しました。(V11R:882, V11R:925, V11N:626)

- 以下のカメラでプリセット名にスペースを使うことができるようになりました。(V11N:399)
  - SNC-RH シリーズ
  - SNC-RS シリーズ
  - SNT-EP シリーズ
  - SNT-EX シリーズ
  - SNC-CH140, SNC-CH180, SNC-DH140, SNC-DH140T, SNC-DH180
- メイン画面で再生中、再生コントロールペインの[前の記録]ボタンや[次の記録]ボタンをクリックしたとき、モニターフレーム内がグレー表示になってしまう不具合を修正しました。(V11N:678)
- 設定画面の[VMD]タブで[カメラ位置]を切り替えたとき、ログオン画面に戻ってしまう不具合を修正しました。(V11N:635)
- メイン画面の再生で、記録中のレコードの再生時に音声が出力されない不具合を修正しました。(VT1:1668)
- カメラ登録直後、NTSC のカメラであっても PAL モードで登録され、フレームレートの設定リストが PAL モードになってしまう不具合を修正しました。(VT1:1251)
- DOM 上のデータの書き込み方法を改善しました。これにより、電源投入時や再起動時、まれにシステムが起動しなくなる問題が解消されました。(V13N:340, V13N:344)

- 構成データの保存を行い、それを異なるサーバーに復元したとき、記録やアクションのトリガーが復元されない不具合を修正しました。(V13R:82)
- **Event Action Server** の定常的なメモリーリークを解消しました。(V13N:295)
- カメラ自動登録ダイアログを開いたときの初期選択を、[カメラ一括登録画面を開く]に変更しました。(V13N:257)
- カメラを登録後に、[一般]タブでカメラ名を変更すると[映像]タブに切り替えた後、設定内容が空欄で表示される場合があります。この不具合を修正しました。(V11N:383)

#### 5-2-8 V1.2.0 で解決された限定事項

- DOM 上のデータの書き込み方法を改善しました。これにより、電源投入時や再起動時、まれにシステムが起動しなくなる問題が解消されました。(V12N:27, V12N:48, V12N:52, V12N:54)

#### 5-2-9 V1.1.2 で解決された限定事項

- iSCSI ストレージの追加時にストレージが正常に認識されない不具合を修正しました。(V11N:620)
- 以下の弊社製のネットワークカメラおよびカメラサーバーで、ファームウェアバージョン Ver. 1.04 や Ver. 1.06 をお使いの場合:  
動体検知枠を設定すると、枠が画面からはみ出してしまうことがあるという不具合を修正しました。(V11R:817, V11N:563)
  - SNC-RH シリーズ
  - SNC-RS シリーズ
  - SNT-EX シリーズ
- VMD(Camera)から VMD(Recorder)に切り替えても VMD(Camera)のアラームを受信し続けてしまう不具合を修正しました。(V11N:552)

- ・ サマータイム(デイライト・セービング・タイム)が有効な地域でシステムをご使用になる場合、夏時間の切り替わり後(開始後および終了後)、アクションスケジュールが正しく動作しない不具合を修正しました。(V11R:560,V11R:561)

**ご注意**

上記修正に伴い、RealShot Manager Advanced V1.1.1 以前のバージョンからアップグレードした際、アクションスケジュールが1時間ずれることがあります。そのような場合、V1.1.2以降のバージョンでアクションスケジュールの再設定を行うことで復旧できます。(V11R:819)

- ・ NSR 本体またはクライアントより音声付でエクスポートしたファイルを、エクスポートした Media File Player で再生する場合、その PC に音声再生のフィルタが入ってなくても音声の再生ができるようになりました。これにより、音声再生のために Media File Player をインストールする必要はなくなりました。(VT2:507)

**5-2-10 V1.1.1 で解決された限定事項**

- ・ 以下のカメラおよびカメラサーバーのファームウェア V1.02 では限定事項がありましたが、ファームウェア V1.04 で解消されました。(V11R:386, V11R:440, V11N:379)

SNC-RH シリーズ

SNC-RS シリーズ

SNT-EP シリーズ

SNT-EX シリーズ

<限定事項>

- ・ プリセットを行うと VMD(Camera)および VMF が検知できません。
  - ・ シャドウツアーの記録(上書き)が一定期間できなくなることがあります。
  - ・ 音声を有効にしてモニタリング中、モニターフレームをクリックすると映像が3秒ほど停止してしまいます。
  - ・ 音声途切れ途切れになることがあります。
- 
- ・ NSR-1000 シリーズに RM-NS1000 を接続すると、Unsupported Device と誤検知されて ERROR ランプが表示される不具合を修正しました。(V11N:479)
  - ・ RM-NS1000 からカメラのパンチルト制御をすると、カメラのパンチルトが停止しなくなる不具合を修正しました。(V11R:596)

- RM-NS1000 からカメラの **Iris/Focus** を調整する際に、ボタンを続けて押すと、一定期間カメラのパンチルトが制御できなくなる不具合を修正しました。(V11R:601)
- RM-NS1000 の **Monitor Select** ボタンを押しても、NSR の画面のモニターフレームにモニターの番号が表示されない不具合を修正しました。(V11N:478)
- Master/Slave 構成の NSR-1000 シリーズおよび **RealShot Manager Advanced** を v1.0.4 から v1.1.0 にバージョンアップすると **Slave** サーバーとの通信が出来なくなる不具合を修正しました。(V11N:473, V11R:582)
- 長時間連続記録中のファイルを再生開始するときの応答性が改善されました。(V11N:38)
- 以下のカメラで **VMF** の設定を行い、記録された映像を再生すると、**VMF** の検知枠の大きさが正常に描画されない不具合を修正しました。(V11R:583)
  - SNC-RH シリーズ
  - SNC-RS シリーズ
  - SNT-EP シリーズ
  - SNT-EX シリーズ
- メイン画面で **PLAYBACK** をクリックしたとき、画面全体がフリーズしてしまう不具合を修正しました。(V11N:491)
- **Light Funnel** の **Threshold** や **Hold Time** 設定に関する不具合を修正しました。(V11N:513)
- メイン画面での再生実行時、**VMF** 枠が表示されない不具合を修正しました。(V11R:711)
- SNC-RH シリーズで、以下のような映像設定をすると映像が表示されない不具合を修正しました。(V11R:745)
  - 例)

H.264, 4096kbps, 1fps

H.264, 8192kbps, 1fps

H.264, 8192kbps, 2fps

- RealShot Manager Advanced V1.1.0.19 以前のバージョンで SNC-DF85 を登録し、コーデックに JPEG を設定している状態でアップグレードした場合、コーデックが MPEG に変更されてしまう不具合を修正しました。(V11R:578)

### 5-2-11 V1.1.0 で解決された限定事項

#### 5-2-11-1 メイン画面：モニタリング

- メイン画面からカメラをプリセットポジションに移動した後で、プリセットポジションの選択以外の方法でカメラを移動した場合には、既にプリセットのリストで表示されているポジションを選択してもカメラは移動されません。一旦、プリセットのリストを別のポジションに切り替えた後、元のポジションを選択してください。(V11N:76)

#### 5-2-11-2 デバイス設定

- カメラを登録する際に、接続されていない IP アドレスを指定して[登録]ボタンを押すと、エラーを検出するまでに 10 分かかります。(V11N:9,V11N:27)
- Barix 社の Barionet を 2 台以上、登録すると、それぞれの Barionet デバイスのピンがデバイスツリー上の全て Barionet の下に混ざって表示されます。Barionet デバイスは 1 台でご利用ください。(V11N:78)
- AXIS 社製のカメラでコーデックを MPEG4 に設定した場合に、モニタリング中のマニュアル記録を行なうと最初の 5 秒間は記録されない場合があります。(V11N:423)
- AXIS 社製カメラのセンサー入力をトリガーにした記録スケジュールやアクションスケジュールを設定しているときにカメラを再起動すると、記録スケジュールやアクションスケジュールが期待通り動作しないことがあります。カメラを再起動した場合は、設定画面にてセンサー入力を一旦無効にして適用した後、再び有効にして適用してください。(VT1:2203)

### 5-2-1 1-3 スケジュール設定

- イベント・アラームアクションの設定におきまして、カメラアクションでプリセットツアーを設定している場合に、プリセットツアーの設定を変更するとそれまで設定されていたアクション終了プリセットの設定値が消える不具合があります。プリセットツアーを切り替えた場合には、再度アクション終了プリセットを設定してください。(V11N:54)
- イベント・アラームアクションの設定におきまして、スケジュール画面でイベント・アラームの条件を変更した後で、画面右側のアクションの対象デバイスを変更すると、アラーム条件の設定値がクリアされます。アラーム条件の設定より前にアクションの対象デバイスの変更を行なってください。(V11N:73)

### 5-2-1 1-4 Media File Player

- Media File Player v1.2.1.5 を使用して、音声を記録した映像ファイルを AVI ファイルにコンバートする際に、以下の条件では音声が無い AVI ファイルが作成されます。(V11R:9)

複数の映像ファイル(CAM ファイル)と複数の音声ファイル(AUD ファイル)で構成されるレコードの AVI コンバートで、2 番目以降の AUD ファイルと次の AUD ファイルにまたがった CAM ファイルから作成された AVI ファイルで、次の AUD ファイルの部分で音声に変換されません。



